

医療法人社団 雄昂会
やたがいクリニック



リニューアル記念誌
(第二版)



受付



待合スペース



待合スペースその2



第一診療室



第二診療室



内視鏡室



リカバリルーム



レントゲン室

沿革

昭和38年初代院長谷田貝軍蔵と二代目院長谷田貝正男により「谷田貝医院」として文京区で開業いたしました。地域に親しまれ診療を続けておりましたが、二代目院長谷田貝正男の急逝により閉院となりました。その後平成12年に三代目院長谷田貝茂雄が日本医科大学から派遣され勤務していた下谷病院が閉院することをうけ、下谷病院退職後に近隣の荒川区東日暮里で「やたがいクリニック」を開業し地域密着型の診療所として現在にいたります。



初代院長
医学博士 谷田貝軍蔵



二代目院長
医学博士 谷田貝正男



三代目院長
医学博士 谷田貝茂雄



副院長
医学博士 谷田貝 昂

谷田貝軍蔵 経歴

履 歴 書

谷田貝軍蔵
明治34年4月20日生

- 大正5年4月 匠術開業試験受取及中。
- 5年9月 匠師免許証才了了11号受取。
- 5年9月 栃木県小山町(現小山市)小山病院副院長勤務。
- 7年4月 東京都文京区(旧本郷区)順天堂病院内科。入院勤務。
- 11年11月 順天堂病院別北里研究所=留学7年。昭和3年10月退所。
- 昭和3年10月 慶応義塾医科大学医学博士。学位7授与セリ。
- 7年11月 太平生命保険会社(現日産生命)医師部長勤務。
- 11年9月 太平生命保険会社診療科長勤務。
- 16年6月 東武鉄道嘱託。
- 19年4月 東武鉄道本社診療科長。
- 20年2月 東武鉄道保健技師本社診療科長。
- 25年1月 停年退職。
- 25年3月 東武鉄道嘱託7命セリ。
- 26年12月 東武鉄道退社。
- 27年4月 株式会社東京有価証券取引所嘱託7命セリ。現社=27年4月 日本証券業協会資格より証券会社嘱託7命セリ。

第1号用紙

谷田貝正男 経歴

履 歴 書

氏名 谷田貝正男
生年月日 大正9年3月10日生

学 歴
昭和12年3月 慶応義塾普通部卒業
昭和15年4月 東京都昭和医学専門学校入学
昭和20年3月 同校卒業
昭和20年6月 陸軍軍医学学校卒業
昭和32年11月15日 慈恵会医科大学より医学博士の学位を受く

職 歴
昭和21年1月 埼玉県幸手農業会病院医員勤務

昭和23年2月 東京都養育会病院勤務
昭和25年10月 昭和医科大学薬理学教室に於て臨床薬物学専攻
昭和27年10月 東京歯科大学に於て内科専攻
昭和28年9月 東武鉄道に入社埼玉県杉戸町東武鉄道診療所長として勤務今日に至る(衛生管理医兼務)

賞 罰 共に受けたことなし

右の通り相違ありません
昭和34年9月17日
谷田貝正男 (印)



当時の薬袋



谷田貝軍蔵

谷田貝茂雄 経歴

氏名 谷田貝 茂雄
生年月日 1957年12月24日生

学歴

1985年 獨協医科大学卒業
1993年 獨協医科大学大学院卒業

職歴

1985年 獨協医科大学麻酔科 研修医
同 集中治療室
千葉県救急医療センター集中治療室
1987年 同 麻酔科 助手
1989年 獨協医科大学第一内科 助手
1993年 国立栃木病院（栃木医療センター）
内科 医長（厚生技官）
1996年 日本医科大学消化器外科
下谷病院外科
2000年 雄昂会やたがいクリニック 開業
現在にいたる

資格・役職

医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会研修指導医
日本臨床内科医会認定内科医
日本集中治療学会専門医
日本救急医学会認定医
麻酔科標榜医
厚生労働省脂質異常症治療薬最適使用推進ガイドライン委員
日本臨床内科医会理事
東京内科医会常任理事
荒川内科医会会長
日本高血圧学会実地医家部会中央委員
獨協学園評議委員
獨協医科大学心臓血管内科非常勤講師
獨協同窓会副会長
日本体育協会公認スポーツドクター
日本医師会認定健康スポーツ医

賞罰

1994年4月 栃木県胸部疾患研究会奨励賞
2016年10月 日本臨床内科医会会長賞

谷田貝 昂 経歴

氏名 谷田貝 昂
生年月日 1988年1月12日生

学歴

2012年 獨協医科大学卒業
2017年4月 順天堂大学大学院医学研究科 人
体病理病態学講座（大学院生）
2019年 順天堂大学大学院卒業

職歴

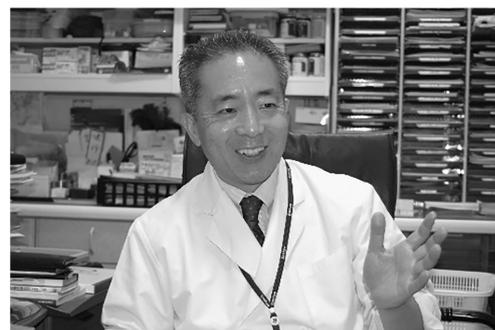
2012年4月 東京医科歯科大学医学部附属
病院 研修医
2014年4月 順天堂大学医学部附属順天堂
医院消化器内科 入局
2016年4月 江東病院消化器内科
2019年4月 順天堂大学医学部附属順天堂
医院消化器内科 助教
2020年4月 順天堂大学医学部附属順天堂
静岡病院消化器内科 助教
2021年4月 順天堂大学医学部附属順天堂
医院消化器内科 助教
現在にいたる

資格

医学博士
日本内科学会認定内科医
日本消化器病学会専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本肝臓学会肝臓専門医
日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医
日本消化管学会胃腸科専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

賞罰

2020年11月 JDDW2020 若手奨励賞受賞
2021年1月 GI bioregulation 研究会ベスト
ディスクッサー賞受賞



やたがいクリニックの理念

**患者様のもつ背景や好みを十分考えて、理屈や道理を押しつけない
科学的根拠に基づいたテイラーメイドの抱え込まない医療を
フットワークとネットワークを活かし迅速に提供いたします**

健康とはなにか？ この問いに対し WHO（世界保健機関）は、「健康」の定義を「完全な肉体的、精神的、社会的、スピリチュアルに健全な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない」と定義しました。健康とは「単に疾病のない状態や病弱でないことではない」すなわち病気でないことが、健康だというわけではないのです。「社会的に健全な状態」とは、御自身の役割を持ち社会と関わりを持っているか。社会参加をしているかということの意味します。ご高齢であればデイサービスや趣味の集まりに参加し自分らしさを失わないことだと理解しています。「スピリチュアル」とは、日本では「魂」とか「宗教的」とかわかりにくい言葉です。「スピリチュアルに健全」とは、私が勉強したところ「インターパーソナルな関係が健全であること」。すなわち自分と外との関連性。家族、友達、恩師、やってきた仕事などに対して自分自身が肯定的に考えられる事が「スピリチュアルに健全」なのだと理解しました。

私の母の場合は、幸い大きな病気もせず、また生まれつき努力家でありながら楽天性も持ち合わせ、はやく伴侶を失ったにもかかわらず精神的に病むこともなく卒寿を迎えることができました。これには「俳句」との出会いが強く影響していると確信しています。

母は俳句を通じて出来事や季節を深く考え知的好奇心を満たし、句会や吟行で皆様と触れあうことで社会との接点を見出してきました。素晴らしいお仲間のおかげさまでこの年齢まで社会参加することができ、まさに健康の定義にあるような「社会との関わり」を保ち続けることができました。

父親が他界し私が大学入学と同時に家を離れ妹が嫁ぎ、母は長く一人暮らしをしていました。長い月日がたち、私が家族を持ち帰京し、やがて母は三人の孫に恵まれました。この孫達にくわえ曾孫三人が生まれて今は合計十三人の家族になりました。卒寿を迎えた今「本当にいろいろ苦勞もあつたけど私は幸せだ」と母は言います。母親の心の中でその人生を肯定的に考えている事が、まさに「スピリチュアルに健全」なのだと理解しています。

それにより「クリニックの理念」にあるように患者様のお話しに耳を傾け尊重し、患者様

のもつ背景や好みを十分考えて、理屈や道理を押しつけない科学的根拠に基づいたテイラーメイドの抱え込まない医療をフットワークとネットワークを活かし迅速に提供し年齢を重ねても社会と関わりながら生活をしていただくことが私の使命と考えています。

自己紹介と御挨拶

私が医師を志したこと、特にこれといったきっかけはなかったように思います。ただ私の祖父と父が開業医をしていたこと、医師の子弟たちが多く通う獨協中学高等学校に学んだことが大きかったです。同級生や先輩後輩の多くが医学部を進路として選ぶなか、特に両親のすすめもなく獨協医科大学に進みました。父親から「どの科に入るか迷ったら麻酔学を勉強しなさい多くの事を学べるから」とアドバイスされ卒業後研修医として大学病院の麻酔科に入局しました。麻酔科、救急センター、集中治療室と研修しているとき、内科医の先輩から「君は病態生理をよく知っているが病気を知らない。内科に来て勉強しなさい」とアドバイスされ、母校の呼吸器と循環器を専門とする「心臓血管肺内科（現在の心臓血管／循環器内科）」に所属変更しました。その後内科系大学院へ入学しました。それから日本救急医学会認定医試験、日本集中治療学会専門医試験、内科認定医試験や大学院卒業などを経て派遣された国立栃木病院（現在の栃木医療センター）では循環器呼吸器6名チームの内科医長をまかされました。その後40歳目前に栃木に残るか故郷の東京に帰るか悩み、その結果母がひとり暮らししている東京にもどり日本医科大学消化器外科で4年間消化器外科を学びました。その間台東区根岸の下谷病院外科に2年間派遣されたこともありJR鶯谷駅から徒歩7分の生まれ故郷で2000年に内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・肛門科・リハビリテーションの『やたがいクリニック』を開業しました。そして今年開業後21年目にリニューアル工事を行い2021年7月5日新装開業となりました。今後も地域医療に心血をそそぎ生涯をささげる決意です。どうぞよろしくお願いたします。

私の「医師」としてのあるべき姿

恩師「崎尾秀彰獨協医科大学救命救急科名誉教授」のこと。私の「医師」としてのあるべき姿をつくってくれた恩師の話です。長文ですが、よろしければお読みください。

昭和59年入局後1ヶ月がたち6月に長崎で麻酔学会があり、わくわく気分で崎尾先生の隣の座席で飛行機に乗り込んだときの事です。崎尾先生は、いきなり「抄録をみせなさい」と言いました。「抄録？ なんですか？ 一応ここにあります」と持参した日本麻酔学会誌をカバンから出して答えると、先生は私の麻酔学会抄録を手にして「いついつどこの講演を聞くかあらかじめラインマーカーなどでチェックしておくものだ。君の抄録はチェックがない。読んだ形跡すらない。聞く気がないなら帰りなさい」と栃木弁で怒られました。1ヶ月前まで学生だったのだから無理です。飛行機は離陸していますから帰れません。この出来事こそが私が初めて崎尾先生からの「教え」だったのです。その夏「麻酔とリマニマシオン」という講演を崎尾先生と聞きに行きました。講演を聞いた帰り道「今日の講演内容を3分間で話してみなさい」と言われました。絶句し答えられませんでした。講演を聞いたら「要約を話せる事」が大切なのだと教えていただいたのです。大学の全身麻酔では当時小児外科に、これまた御指導のきびしい栃木弁の助教授が研修医に小児ヘルニアの手術で怒ってい

る。その小児の全身麻酔を担当していた私に崎尾先生が「この子供に1回換気量はいくつでバック押してるのだ？ 換気回数は？ 有効肺泡換気量は？ ジャクソンリースの利点と欠点は？？」など。小児外科のヘルニア手術は怒りの栃木弁飛び交う修羅場でした。論文検索を業者に御願いと「図書館は何時まで開いているか知っているか？自分で論文を捜し出す事が勉強だ！」との御指導。術中に尿量が少ないので利尿剤を使おうとすると「血圧、補液は十分か？ バルーンの管は折れ曲がってないか？ 腹部は触診したか？ 術者に膀胱の張り具合を聞いたか？」と。ある日崎尾先生の留学時代の恩師がテキサスから来ていたときの自己紹介で「全身麻酔」を「allbody anesthesia」と言って爆笑をかい、崎尾先生に呆れられてから、いつでもどこでも「それは英語で表現すればなに？ スペルは？」と聞かれました。毎日 OPE 室で、ICU で、外勤の行き帰りで、きびしい「教え」いただく毎日でした。学会発表デビューは獨協医学会で「坐位手術における空気塞栓の一症例」でした、当時ワープロなどない時代手書きの原稿を何回も何回も赤鉛筆で直してくださいました。いつまでも OK がでないで「いつまで書き直すのですか？」と訊ねると「発表の直前まで」との答えでした。崎尾先生が書きなおした部分も御自身で納得いくまで書き直していました。論文デビューは日本救急医学会雑誌に投稿した「心刺創の周術期管理」でした。この時もまた「投稿締め切りの朝まで」書き直してくれました。崎尾先生は医局員の学会発表や論文作成に莫大な時間と労力を惜しまず使ってくださいました。崎尾先生の緻密できめ細やかな学問に対する姿勢を思い出します。私が第一内科（現在の心臓血管／循環器内科）の大学院時代に崎尾先生も同じ研究室で実験をしていました。崎尾先生は、いつでも自分で犬を外に連れ出し排便させて、自分の手で麻酔薬を静脈投与して実験していたのです。そうする事で犬の栄養状態や全身の様子を観察し実験結果を総合的に評価する事が肝要だとおっしゃっていました。私は超多忙な臨床の合間の研究なので後輩や技術員に御願いとすることが多かったのです。崎尾先生の実験に対する姿勢こそが本当の「Research mind」なのだと思います。

いつも怒られていたので医局旅行の時に「いつかは崎尾先生をネタに」と余興のとき当時流行していた沢田研二の「TOKIO」という歌の替え歌で「SAKIO」という歌をカラオケで披露しました。これが参加した皆さんにバカ受けし「崎尾が空を飛ぶ～」の大合唱。その後の忘年会などでもネタに使い多くの医局員に歌い継がれました。どうもすみません。でも私の「SAKIO」が、どちらかというと堅物の崎尾先生をスター街道に押し上げ、その勢いで「教授」に就任したのだと確信しております。

実臨床で、崎尾先生は人工呼吸器を使わせてくれませんでした。12時間くらいかかる長い手術の麻酔も「手押しバック」だったのです。その「手押しバック」を押すことで患者様の肺の柔らかさや痰詰まりなど手で触れる多くの情報を得るためでした。右手でバックを押して、左手は患者様の脈を取ります。それでいち早く血圧低下や不整脈を発見するためです。酸素飽和度や自動血圧計のない時代でしたが、その手押しバックや脈をとるという経験は後々内科医として役に立つ素晴らしい宝物でした。崎尾先生の「患者さんに聴診器をあてたり腹部を触診しない医者は患者さんを診ていない」と言う言葉は今でも心に残っています。昭和の時代の研修医は「無給」でした。私は崎尾先生の車に乗せていただいて上都賀総合病院や芳賀赤十字病院に二人で外勤に行きました。まず私の担当する手術の麻酔を導入して、執刀を見届けて私に「大丈夫か」と声をかけてから、自分の担当手術の麻酔導入をしていました。崎尾先生と並列手術の間も私の麻酔を何回もみにきてくれて声をかけていただき

ました。本当に手のかかる研修医だったと思います。

当時のICUは朝8時30分に集合してICUのスタッフと各科の医師に当直医師が入室患者さんの報告をするカンファレンスがありました。そのカンファレンスで崎尾先生は、前の夜新しく入室してきた患者さんの事、深夜で起こった急変のこと使った薬剤や処置について詳細に把握していて、私に「君は、なんで知らないのだ！患者さんをよく診ているのか！」と怒られました。「崎尾先生は患者さんをよく診ているんだなあ」と感心していました。

そんなある日ICUで当直をして朝のカンファレンスに備えて温度板を見ていたら、朝8時頃に崎尾先生がふらりと来て患者さんの病床をまわって温度板に目を通し看護師さんに、あれこれ質問していました。そして休憩室でコーヒーを飲んでカンファレンスに出ていたのです。私は「これか！」と思いました。崎尾先生の1日の終わりは午後9時30分過ぎにICUに来て患者さんの様子をみて当直医に声をかけてOPE室に電気がついていないかみて「緊急の手術が行われてないか確認」さらに救急外来の前を通過して「なにか起こっていないか確認」して帰宅していたのです。これこそ「臨床医の仕事に対する姿勢」なのです。その後、私は麻酔科から所属変更し呼吸器と循環器内科で大学院を含め10年間、実家の東京へ戻り日本医科大学消化器外科で4年間勉強し開業しました。大学病院でも、どこの派遣病院でも朝一番は外来の日でも検査の日でも必ず「まず病棟に行って受け持ち患者さんの様子をみて看護師さんに声をかけてから」そして「帰宅する前に、ちょっと病棟へ行って看護師さんに声をかけてから」を常としていました。この臨床医としての姿勢は派遣先で一緒だった後輩達に今でも受け継がれています。今になって私が自分で思う医師として一番の技術はカテーテル検査や気管支鏡検査ではなく「気管内挿管とマスク換気」です。気管内挿管は顎の小さな患者さんや開口困難の患者さん、意識のある人の挿管など麻酔科時代多く遭遇し経験を重ね、いつしか自分の得意な技術となりました。この気管内挿管は数ヶ月の麻酔科研修では完全に習得できない年月かかる技術でした。そして「マスク換気」です。鎮静薬や筋弛緩薬を投与されて呼吸が止まった患者さんや、意識なく呼吸停止した患者さんでもあわてることなく「まず純酸素でマスク換気」です。崎尾先生の教えは下顎の位置と首の角度を微妙に調整し誤嚥するから胃に空気を入れないように患者さんの胸の動きをよく見て軽く確実に換気でした。その後内科医に所属変更してから各科麻酔の担当医や病棟から「呼吸が停止した」と呼び出されるとこの「マスク換気」で低酸素から回復することが多くありました。崎尾先生は「大きな手術と小さな手術はあるが、大きな麻酔と小さな麻酔はない。いつでも細心の注意をなさい。特に短い手術でちょっと寝かして欲しいなどという時は事故が起きやすい」と教えてくれました。現在内視鏡検査などで鎮静薬を使う時、この言葉を思い出して「全身麻酔と同じ緊張感」で検査しています。医師として書き切れないくらいの「教え」と「仕事に対する姿勢」を教えていただいた崎尾先生には言葉では表現できないくらい感謝しています。本当にありがとうございました。この経験が現在の私の医師としてのあるべき姿をつくりました。リニューアル記念誌作成にあたり、医師としてのあるべき姿を教えてくださいました崎尾先生へのお礼と息子と後輩達へメッセージとしてどうしても書き留めたかったので長文となりました。最後までお読みいただきありがとうございました。

谷田貝正男 業績集

著書・論文

- 1948.2 谷田貝正男（昭和大薬理）、平野壽、中川安彦、藤原三雄：埼玉縣幸松村學童の寄生蟲検査，驅蟲試験報告．昭和医学会雑誌(8)Page: 23 (1948.02)
- 1952.3 谷田貝正男（昭和大薬理）、望月照夫：芳香族 Aldehyd 特に Piperonalbenzaldehyd の心臓作用に及ぼす Taurin の影響．昭和医学会雑誌 12(1)Page: 23 (1952.03)
- 1952.3 谷田貝正男（昭和大薬理）、望月照夫：芳香族 Aldehyd 特に Vanillin, Salicylaldehyd の障碍心臓に及ぼす影響．昭和医学会雑誌 12(1)Page: 27 (1952.03)
- 1952.8 谷田貝正男（昭和大薬理）、角尾滋、北村忠兵衛、望月照夫、武藤壽剛：芳香族 Aldehyd の薬理作用(1)特に Vanillin の作用．昭和医学会雑誌 48(3)Page: 202 (1952.08)
- 1955.9 谷田貝正男（昭和大薬理）：Vanillin 竝に其誘導體の生体内運命．昭和医学会雑誌 15(4)Page: 272 (1955.09)



谷田貝正男



谷田貝正男の聴診器



谷田貝茂雄（メディカルセブンス）



谷田貝昂（内視鏡検査中）

谷田貝茂雄 業績集

著書・論文 (筆頭著書のみ)

- 1986.3 谷田貝茂雄 (獨協医科大学第2麻酔科) 他: 坐位手術における空気塞栓症の一症例. 獨協医学会雑誌 (0911-5900) 1巻2号 Page275 (1986.03)
- 1987.3 谷田貝茂雄 (獨協医科大学集中治療) 他: 頭蓋内圧測定を試み. 獨協医学会雑誌 (0911-5900) 2巻2号 Page335 (1987.03)
- 1987.6 谷田貝茂雄 (獨協医科大学附属病院集中治療)、岩瀬良範、内田幸介他: 心刺創の1救命例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 (0287-301X) 8巻1号 Page234-236 (1987.06)
- 1987.8 谷田貝茂雄、岩瀬良範、内田幸介、飯田正幸、崎尾秀彰、奥田千秋 (独協医大病院): 心刺創の1救命例. Y0860A (0287-301X) 日本救急医学会関東地方会雑誌 Vol. 8, No.1 Page. 234-236 1987 (写図2, 参5) CC GJ03020Y (616.12)
- 1988 谷田貝茂雄、長尾伊知郎、小川研一、塚田錦治、大井田史嗣、広瀬健、奥田千秋、河合寛、藤沼秀光、吉村正治、八木繁: 当院集中治療部に収容した急性心筋梗塞84例の臨床像. 獨協医学会誌第4巻第1号 (別冊) P37~45
- 1988.8 谷田貝茂雄 (獨協医科大学第2麻酔科)、安藤保、大津敏他: 外傷による右外腸骨動脈離断にて大量出血をした症例の周術期管理. 腹部救急診療の進歩 (0289-5021) 8巻4号 Page593-595 (1988.08)
- 1988.9 谷田貝茂雄 (獨協医科大学第1内科) 他: 実験的右室心筋梗塞における左右循環時間比測定による体肺血液量シフトの検出. 日本臨床生理学雑誌 (0286-7052) 18巻臨増 Page158-159 (1988.09)
- 1988.10 谷田貝茂雄、小川研一、長尾伊知郎、大井田史嗣、塚田錦治、広瀬健、河合寛、玉野雅裕、吉村正治: 実験的右室心筋梗塞における左右循環時間比測定による体一肺血液量シフト検出. 日本臨床生理学 Vol.18 Suppl.P158
- 1989.6 谷田貝茂雄、小川研一、大井田史嗣、塚田錦治、長尾伊知郎、沼尾聡之、吉村正治、(株)フクダ電子 朝比奈芳夫、中橋義尚: 血管内光ファイバークテーテル色素希釈法による体一肺血液量モニターの開発——心嚢液貯溜大による実験的検討一. 第16回日本集中治療医学会総会シンポジウム ICUとCCU Vol.13 臨時増刊春号 P67 臨時増刊記録号: P20
- 1989.7 谷田貝茂雄、安藤保、大津敏、木島金夫、樋口純、内田幸介、三田秀孝、大出弘孝、崎尾秀彰 (独協医大): 肺水腫症例の水腫液および血しょうトロンボキサンB2濃度. Z0581B (0389-1194) ICUとCCU Vol.13, No.7 Page. 607-612 1989 (写図1, 表2, 参22)
- 1989.7 谷田貝茂雄、崎尾秀章、飯田正幸、内田幸介、佐藤友則、鈴木敏彦、木多秀彰、岩瀬良範、奥田千秋 (独協医大): Cisplatin, Etoposide 併用による肺小細胞癌2例の治療経験. F0917B (0285-3019) 診療手帖 No.105 Page. 43-45 1989 (写図5)
- 1989.8 谷田貝茂雄 (獨協医科大学附属病院第1内科) 他: 非定型抗酸菌症による縦隔内リンパ節腫脹が高度の気管支狭窄をきたし診断および治療に難渋をした若年症例. 結核 (0022-9776) 64巻8号 Page540 (1989.08)
- 1989.9 谷田貝茂雄 (獨協医科大学第1内科) 他: 血管内光ファイバークテーテルによる体一肺血液量シフトの検出 実験的心嚢液貯溜大を用いて. 日本臨床生理学雑誌 (0286-7052) 19巻臨増 Page192 (1989.09)
- 1989.10 谷田貝茂雄、河合寛、小川研一、吉村正治: Ci-platin Etoposide 併用による肺小細胞2例の治療経験. 診療手帖 No105 43~45
- 1989.10 谷田貝茂雄、大井田史嗣、塚田錦治、小川研一、吉村正治: 血管内光フェイバークテーテルによる体一肺血液量シフトの検出 (実験的心嚢液貯溜大を用いて). 日本臨床生理学雑誌 Vol.19 Suppl P192
- 1989.10 谷田貝茂雄、崎尾秀彰、鈴木敏彦、岩瀬良範、佐藤友則、奥田昌秋、玉野雅裕、氏家裕子、大野邦彦、木多秀彰、小川研一、奥田千秋: 肺水腫とトロボキサン. 第26回日本臨床生理学総会 日本臨床生理学雑誌 Vol. 19. Suppl. p110
- 1990.3 谷田貝茂雄、河合寛、小川研一、吉村正治 (独協医大): 光ファイバークテーテルによる色素幾何線検出装置の開発. Z0660A (0452-3458) 呼吸と循環 Vol.38, No.3 Page. 229-235 1990 (写図8, 参5)
- 1991.7 谷田貝茂雄 (石岡第一病院) 外島敬久、藤沼秀光他: 脳卒中患者に対するケタス (イブジラスト) の使用経験. ドクターサロン (0389-7303) 35巻8号 Page681-684 (1991.07)
- 1991.7 谷田貝茂雄: 脳卒中患者に対するイブジラストの使用経験. 薬剤と臨床 35巻 8月号
- 1991.9 谷田貝茂雄、岡茂樹、宮尾雅之、河合寛、小川研一、中元隆明、飯塚昌彦 (放射線科) 野村利治、後藤政文、岩倉治男: 気管切開孔のある患者の肺換気シンチグラフィにおける工夫. 関東地区呼吸器核医学研究会誌 P33-35 (第6回関東地区呼吸器核医学研究会)
- 1991.10 谷田貝茂雄、中元隆明、加藤士郎、小林幹夫、大沼天、大野邦彦、秋葉浩文、浅井寿彦、藤沼秀光、飯塚昌彦、今野佐智代、長沢仁子、水越浩子、小川原正明: 心疾患における安静呼吸時気道抵抗と肺水分量との関係—殊にニトログリセリン舌下投与による検討—. 第28回日本臨床生理学総会 日本臨床生理学雑誌 Vol.21Suppl.: 100-101
- 1991.10 谷田貝茂雄、小林幹夫、森博美、木村光宏、桃木茂、吉武淳郎、原互助、木代泉、小川研一、中元隆明、飯塚昌彦: CARBOPLATIN (CBDCA) を中心とした肺癌化学療法の有効性についての検討. 第28回日本臨床生理学総会 日本臨床生理学雑誌 Vol.21 Suppl.: 137-138
- 1991.10 谷田貝茂雄、前沢弘忠、羅美杰、岡茂樹、小川研一、飯塚昌彦 (組織培養研究施設) 間中研一: N-(7-dimethyl-amino-4-methyl-3-coumarinyl) maleimide (DACM) 蛍光染色による組織中 sulfhydryl 其の評価. 第28回日本臨床生理学総会 日本臨床生理学雑誌 Vol.21Suppl.: 112
- 1991.11 谷田貝茂雄、加藤士郎、浅井寿彦、大沼天、大野邦彦、中元隆明、飯塚昌彦: サブトラクション CT 画像に

- よる肺血管床透過性評価の臨床応用について. 日本胸部疾患学会雑誌 Vol.29 no.11:1444-1449
- 1991.12 谷田貝茂雄、加藤史郎、中島市郎、瀬尾弘司、岡茂樹、堀江康人、中元隆明、飯塚昌彦: 陳旧生肺結核に続発した慢性呼吸器緑膿菌感染症に対する ofloxacin (OFLX) の治療効果. 呼吸 Vol.10 no.12:1459-1463
- 1992.10 谷田貝茂雄、星俊安、藤沼秀光、西谷一晃、沼尾聡之、桃木茂、堀江康人、浅井寿彦、長尾伊知朗、阿部七郎、大井田史嗣、佐久間源三郎、前沢宏忠、小川研一、飯塚昌彦: 冠動脈造影解析システムの再現性の評価. 日本臨床生理学会雑誌 Vol.22 Suppl.1992 P115
- 1993 谷田貝茂雄: 低酸素性肺血管収縮に対するニトログリセリンの効果 肺血管抵抗と chemical mediator について. 獨協医学会誌 第8巻 第2号 p399
- 1993.3 谷田貝茂雄 (獨協医科大学第1内科) 堀江康人、小川研一: 低酸素性肺血管収縮に対するニトログリセリンの効果 肺血管抵抗と chemical mediator について. 獨協医学会雑誌 (0911-5900) 8巻2号 Page399-413 (1993.03)
- 1993.3 谷田貝茂雄 (獨協医科大学第1内科) 堀江康人、小川研一: 低酸素性肺血管収縮に対するニトログリセリンの効果 肺血管抵抗と chemical mediator について. Japanese Circulation Journal [0047-1828/1347-4839] 57 (増刊 ABSTRACTS) Page:441 (1993.03)
- 1993.9 谷田貝茂雄 (国立栃木病院) 他: 来院時心電図変化に乏しかったが myocardial stunning の状態と考えられ異なる経過を示した2症例. 医療 (0021-1699) 47巻増刊 Page24 (1993.09)
- 1993.12 谷田貝茂雄: 人工呼吸中の患者の肺換気シンチグラフィについて. 関東地区呼吸器核医学研究会誌 8 p40
- 1994.1 谷田貝茂雄、堀江康人、小川研一 (獨協医大): 左心系疾患患者におけるニトログリセリン舌下投与による安静時気道抵抗と動脈血液ガスに及ぼす急性効果. Y0231A (0286-9314) 呼吸 Vol.13, No.12 Page. 1262-1266 1994 (写真3, 表3, 参13)
- 1994.11 谷田貝茂雄 (獨協医科大学第1内科) 他: 人工呼吸中の患者の肺換気シンチグラフィについて. 日本臨床生理学会雑誌 (0286-7052) 24巻臨増 Page110-111 (1994.11)
- 1995.3 谷田貝茂雄 (国立栃木病院) 他: シスプラチンの気管支動脈内注入と塩酸イリノテカンの全身投与を併用した肺門型非小細胞肺癌に対する化学療法の検討. 日本胸部疾患学会雑誌 (0301-1542) 33巻増刊 Page277 (1995.03)
- 1996.3 谷田貝茂雄 (国立栃木病院) 町田優、池森邦夫他: 肺癌化学療法における末梢からの12.5%ブドウ糖加電解質維持液 (ソリタックス-H) の効果. 診療と新薬 (0037-380X) 33巻3号 Page436-441 (1996.03)
- 1996.5 谷田貝茂雄、中村洋、加藤士郎、木村光宏、鈴木英彦、佐藤知之、阿部七朗、中元隆明、飯塚昌彦 (獨協医大): 新キノロン系経口抗菌剤 Sparfloxacin の喀痰移行率経時的变化および肺組織内移行率についての検討. Z0357A (0385-2806) 基礎と臨床 Vol.30, No.11 Page. 2997-3002 1996 (写真6, 表3, 参7)
- 1996.6 谷田貝茂雄、町田優、池森邦夫、木村光宏 (国立栃木病院) 手島久文、倉持晋久、尾崎道郎、戸塚雅之 (獨協医大): 11年前に皮膚筋炎と診断された続発性肺高血圧症に血管拡張薬と抗凝固療法が有効であった1症例. Y0231A (0286-9314) 呼吸 Vol.15, No.6 Page. 674-679 1996 (写真6, 表2, 参14)
- 1996.11 谷田貝茂雄 (国立栃木病院) 横山晃貴、木代泉他: 新キノロン系経口抗菌剤 Sparfloxacin の喀痰移行率経時的变化及び肺組織内移行率についての検討. 基礎と臨床 (The Clinical Report) (0385-2806) 30巻11号 Page2997-3002 (1996.11)
- 1997.11 谷田貝茂雄 (日本医科大学第1外科) 恩田昌彦、田近栄四郎: Levofloxacin の呼吸器領域 (喀痰及び肺組織) への移行性について. 日本外科感染症研究 (0916-7021) 9巻 Page231-234 (1997.11)
- 1998.3 谷田貝茂雄 (博慈会記念総合病院) 吉安正行、野村務他: 当院外科における最近一年間の高齢者手術の現況. 老人病研究所紀要7号 Page36-38 (1998.03)
- 1998.8 谷田貝茂雄 (博慈会記念総合病院) 吉安正行、谷口善郎、野村務、大川敬一、土屋喜一、池田研吾: 当院で手術した胆石症例の動脈硬化危険因子合併について. 日本臨床生理学会雑誌 (0286-7052) 28巻臨増 Page124 (1998.10)
- 1999.5 谷田貝茂雄、高崎圭司、野田宇一、原沢寛、田近栄四郎 (国立栃木病院) 横山晃貴、木代泉 (獨協医大): Levofloxacin のヒトにおけるかくたんおよび肺組織への移行性について. F0768B (KRRYE) (0913-2384) 化学療法の領域 Vol.15, No.11 Page. 1629-1633 1999 (写真4, 表1, 参10)
- 1999.10 谷田貝茂雄 (国立栃木病院) 町田優、池森邦夫、木村光宏、田近栄四郎: Levofloxacin のヒトにおける喀痰及び肺組織への移行性について. 化学療法の領域 (0913-2384) 15巻11号 Page1629-1633 (1999.10)
- 2000.12 谷田貝茂雄: 他院での降圧薬治療で動悸とほてりを訴えて来院. WINTER 2000年 ATTENDING
- 2002.3 谷田貝茂雄: 素朴な疑問を一気に解決! 風邪 Q&A. ESSE 2002年3月号
- 2002.3 谷田貝茂雄: 「HOMED-BP 研究に参加してよかった」と思うとき. no.3 June 2002年 HOMED-BP NEWS
- 2002.3 谷田貝茂雄: 百寿者に訊け! 長寿の秘訣. vol13 no1 日本抗加齢医学会雑誌
- 2004.2 大塚邦明、谷田貝茂雄: 降圧不十分例に対する ACE 阻害薬ペリンドプリルの早朝高血圧抑制効果. THERAPEUTIC RESEARCH Vol.25 No2 Page.423-430
- 2006 谷田貝茂雄: 勤務時代から開業医生活そばにはいつもラグビーがあった. ドクターホリデイ 2006年夏の号
- 2006.9 谷田貝茂雄: 検査のコツとピットフォール. 日本臨床内科医会誌 第21巻 第3号 p319
- 2006.9 谷田貝茂雄: 腹囲、メタボリックシンドロームと胃食道逆流症 (GERD) の関連性についての検討. 日本臨床内科医会誌 第21巻 第3号 p344
- 2007.4 谷田貝茂雄: ねつ造事件に思う. 東京内科医会誌 第22巻 3号 p149
- 2007.6 谷田貝茂雄: 検査のコツとピットフォール 頸動脈エコー検査. 日本臨床内科医会誌 第22巻 第1号 p49
- 2008.10 谷田貝茂雄: 検診結果の読み方. 東京内科医会誌 24巻2号 Page:128
- 2008.12 谷田貝茂雄: 開業医がおこなう頸動脈超音波検査. 東京内科医会誌 第24巻 第2号 p131
- 2008.12 谷田貝茂雄: 血糖、LDL コレステロール、中性脂肪. 東京内科医会誌 第24巻 第2号 p121
- 2009.6 谷田貝茂雄: レセプトオンライン化で本当に必要な準備とは何か~開業医の立場から~. 日本臨床内科医会誌 第24巻 第1号 p123
- 2009.12 谷田貝茂雄: お薬情報書の見方. 東京内科医会誌 第25巻 第2号 p144
- 2010.2 谷田貝茂雄: レセプトオンライン請求の迷走~そして私はどうしたか~. 荒川区医師会誌 第47号 p8

- 2010.8 谷田貝茂雄：開業医決断物語 レセコンを買い換えて診療が変わった。日本医事新報 NO4504 p34
- 2011.1 谷田貝茂雄：座談会 地域医師会や研究会で在宅の仲間づくりを。Clinic Magazine 2011年 p12
- 2011.1 谷田貝茂雄：State of the art と開業医の医療 IT 導入。荒川区医師会誌 第49号 p12
- 2011.4 谷田貝茂雄：State of the art と開業医の医療 IT 導入。東京内科医会誌 第26巻 第3号 p253
- 2011.10 谷田貝茂雄：地区医師会におけるソーシャルネットワークサービスについて～Twitter、mixi、facebook から学ぶ～。荒川区医師会誌 第50号 p13
- 2012.3 谷田貝茂雄：健康観や幸福感は人それぞれ。ドクターズプラザ 3月号 p8
- 2012.9 谷田貝茂雄：開業医の現状とジレンマ。日本臨床内科医会誌 第27巻 第2号 p228
- 2012.10 谷田貝茂雄：若手医師・女性医師がいきいきと働き続けるキャリアパスとは。クリニクマガジン NO541 p44
- 2012.12 谷田貝茂雄：認知症の診断と治療。東京内科医会誌 第28巻 第2号 p183
- 2013.1 谷田貝茂雄：今の若い医師達とどう向き合えばいいのか～研修医・大学院生をサポートする会をまかされて～。荒川区医師会誌 第54号 p21
- 2013.1 谷田貝茂雄：高齢者に多い気になる病気の予防・治療を解説。クリニカルマガジン NO535 p34
- 2013.1 谷田貝茂雄：荒川医師会ラグビー部。荒川区医師会誌 第53号 p13
- 2013.3 谷田貝茂雄：開業医が、医学生・研修医・大学院生に進路をアドバイス。クリニカルマガジン NO525 p45
- 2013.6 谷田貝茂雄：ほっておくと怖い高血圧症。自動車優良部品 第66巻 6号 p30
- 2013.10 谷田貝茂雄：今の若い医師達とどう向き合えばいいのか。日本臨床内科医会誌 第28巻 第2号 p282
- 2013.11 谷田貝茂雄：風邪の疑問を一気に怪傑。自動車優良部品 第66巻 11号 p36
- 2014.2 谷田貝茂雄：胸痛と狭心症、心筋梗塞。自動車優良部品 第67巻 2号 p34
- 2014.3 谷田貝茂雄：医学生、研修医をサポートする会。日本臨床内科医会誌 第28巻 第5号 p794
- 2014.4 谷田貝茂雄：閉塞性動脈硬化症～脚の冷えと痛み～。東京内科医会誌 第29巻 第3号 p229
- 2014.4 谷田貝茂雄：医療 IT 化の時代にやっておくべき事は何か：続報。荒川区医師会誌 第55号 p7
- 2014.8 谷田貝茂雄：30周年記念に寄せて。東京内科医会30周年記念誌
- 2014.8 谷田貝茂雄：内科疾患のピットフォールと医療訴訟。東京内科医会誌 30巻1号 Page:47
- 2014.9 谷田貝茂雄：テラーメイドの医療 IT 導入～将来を見据えた汎用性をめざして～。日本臨床内科医会誌 第29巻 第2号 p328
- 2014.11 谷田貝茂雄：脂質異常症について～標準的治療を受けるために必要な知識～。クリニカルマガジン NO545 p40
- 2015.4 谷田貝茂雄：脂質異常症。東京内科医会誌 第30巻 第3号 p290
- 2015.4 谷田貝茂雄：脂質異常症。東京内科医会誌 第31巻 第3号 p236
- 2015.7 谷田貝茂雄：医学生・研修医・女性医師がかたる時代を映すキャリアパス。クリニカルマガジン NO564 p21
- 2015.9 谷田貝茂雄：押し寄せてくる医療 ICT の波～将来を見据えた選択のポイント～。日本臨床内科医会誌 第30巻 第2号 p261
- 2015.12 谷田貝茂雄：対談：生活習慣病の治療は個々に異なることを認識する。クリニカルマガジン NO564 p44
- 2016.1 谷田貝茂雄：押し寄せてくる医療 ICT の波～将来を見据えた選択のポイント～。荒川区医師会誌 第59号 p4
- 2016.6 谷田貝茂雄：先輩医師から若手医師へ。進路、キャリア形成をアドバイス。クリニカルマガジン NO564 p21
- 2016.8 谷田貝茂雄：レセコンデータを用いた自院糖尿病患者の状況把握～。医総研 MICAN の活用～。東京内科医会誌 第32巻 第1号 p36
- 2016.8 谷田貝茂雄：レセコンデータを用いた自院糖尿病患者の状況把握～。医総研 MICAN の活用～ 日本臨床内科医会誌 第31巻 第3号 p427
- 2016.9 谷田貝茂雄：開業医が活用する地域医療 ICT～医療連携コミュニケーションツール「join」を使って～。日本臨床内科医会誌 第31巻 第3号 p451
- 2016.11 谷田貝茂雄：対談「たかが便秘されど便秘」。クリニカルマガジン NO564 p56
- 2016.12 谷田貝茂雄：医療モバイル ICT 導入の検討ポイント。日本臨床内科医会誌 第31巻 第4号 p600
- 2017 谷田貝茂雄：糖尿病と脂質異常症。東京内科医会誌 第33巻第3号・第34巻第1号合併号 p309
- 2017.1 谷田貝茂雄：男性医師、女性医師にとられず、それぞれの立場や違いを尊重する。クリニカルマガジン NO571 p51
- 2017.2 谷田貝茂雄：受験だけではなく人間教育を重視。クリニカルマガジン NO572 p36
- 2017.4 谷田貝茂雄：第2回荒川区医師会症例検討会に参加して。荒川区医師会誌 第61号 p5
- 2017.5 谷田貝茂雄、SAM：ダンスで社会に還元～健康増進。生きがいつくりの効果～。クリニクマガジン NO575 p30
- 2017.6 谷田貝茂雄：高齢者における不眠症治療のゴールについて開業医はどう考えるか。日本臨床内科医会誌 第32巻 第1号 p144
- 2017.6 谷田貝茂雄：レセコン Data を活用した「J-DOME」への参加。日本臨床内科医会誌 第32巻 第1号 p148
- 2017.8 谷田貝茂雄：診療報酬改定を前に見直したいレセコンと電子カルテの現状。東京内科医会誌 第33巻 第1号 p50
- 2017.9 谷田貝茂雄：身近なレセコン・電子カルテの活用によるかかりつけ医の糖尿病診療の向上に向けた取り組み。日本臨床内科医会誌 第32巻 第2号 p287
- 2017.10 谷田貝茂雄（やたがいクリニック）、高尾洋之、土肥徹次、堀正峻、竹下康平：実地医家セッション 実地医家の診療技術 スマホ連携リスト型ウェアラブル血圧計の開発。日本臨床生理学会雑誌 [0286-7052/2435-1695] 47 (4)Page:104 (2017.10)
- 2018.1 谷田貝茂雄、高尾洋之、日々澤肇、小杉和博：医療 ICT は、利便性と対価と使いやすさと確かな根拠が必要。クリニクマガジン NO583 p8
- 2018.3 谷田貝茂雄：医療 ICT の標準を考える。日本臨床内科医会誌 第32巻 第5号 p822
- 2018.6 谷田貝茂雄（やたがいクリニック）、日本臨床内科医会 IT 委員会：紙カルテから電子カルテへのしなやかな移行 クラウド型電子カルテによる段階的移行のすすめ。日本臨床内科医会誌 [0914-9627] 33 (1) Page: 102 (2018.06)

- 2018.6 谷田貝茂雄：開業医として地域医療に貢献しよう、クリニックから病院まで 内科開業医の行う在宅診療の実際 泌尿器科症例も提示して. 泌尿器外科 [0914-6180] 31 (臨増) Page:648 (2018.06)
- 2018.10 谷田貝茂雄 (東京内科医会)：【糖尿病のリスクマネージメント】糖尿病と脂質異常症. 東京内科医会誌 [0914-9503] 33-34 (3-1) Page:309 (2018.10)
- 2018.11 谷田貝茂雄：高血圧症について. vol25 no11 2018 血圧
- 2019.6 谷田貝茂雄：熱中症予防にはカフェインを含む緑茶やコーヒーよりスポーツドリンクを. アルバ NO775 p134
- 2019.7 谷田貝茂雄：医療と薬のフェイクニュース フェイクニュースのまん延は医療経済にも多大な影響を与える. Clinic Magazine [0389-7451] 46(7)Page:22 (2019.07)
- 2019.7 谷田貝茂雄：いまさらですが電子カルテの導入はい

- つか? いまでしょう! ~クラウド型電子カルテのすすめ ~. 荒川区医師会誌 第65号 p10
- 2019.9 谷田貝茂雄：いまさらですが電子カルテの導入はいつか? いまでしょう! ~クラウド型電子カルテのすすめ ~. 日本臨床内科医会誌 第34巻 第2号 p220
- 2020.10 谷田貝茂雄：かかりつけ医によるPCR検査開始「発熱外来」のハードルを解消 段ボール製診察ブースの活用で空間的・時間的ゾーニングが可能. Clinic Magazine [0389-7451] 47(10)Page:17 (2020.10)
- 2021.3 谷田貝茂雄：オンライン資格確認導入にむけて~仕組み全体を把握するために~. 日本臨床内科医会誌 第35巻 第5号 p426
- 2021.5 谷田貝茂雄：「オンライン資格確認・医療情報支援基金」で自分でやっておく事と業者に任せること~仕組み全体を把握するために~. 荒川区医師会誌 第67号 p15

学会発表 (主演者のみ)

- 1989.5.13 第84回日胸疾関東地方会 「非定型抗酸菌症による縦隔内リンパ節炎が高度の気管支狭窄を来し※に難渋した若干症例」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科) 全協連ビル
- 1990 第7回関東地区呼吸器核医学研究会 「気管切開孔のある患者の肺換気シンチグラフィ施行時の工夫による検査室内線量分布とRI吸収効率」 座長・久保敦司 (慶応大学 放射線科) 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学集中治療室) 東京慈恵会医科大学
- 1990.11.30 第3回栃木県救急集中治療勉強会 「急性中毒に関する症例検討エチルアルコール中毒」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学集中治療室)
- 1991.7.6 第95回日本胸部疾患学会関東地方会 「Steroid剤が著効したBOOPと思われる一症例」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科)
- 1991.9.14 第7回関東地区呼吸器核医学研究会 「気管切開孔のある患者の肺換気シンチグラフィ施行時の工夫による検査室内線量分布とRI吸収効率」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科)
- 1991.10.2 第72回「肺と心」研究プログラム 「H2-blocker静注により惹起された不整脈」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科) 国立栃木病院管理棟2Fカンファレンスルーム
- 1991.10.5 日本循環器学会関東甲信越地方会第141回例会 「起始異常を合併する右冠動脈のスバズムにより完全房室ブロックを呈した異型狭心症の一症例」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科) 東京
- 1991.11.2 第120回日本結核病学会関東支部・第97回日本胸部疾患学会関東地方会 「気管支腫脹胸の一症例」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科) 横浜
- 1991.11.22 第42回気胸研究会 「胸腔鏡で、気管支胸膜瘻々孔を観察し得た慢性膿胸の1症例」 座長・内山照雄 (獨協医科大学越谷病院呼吸器内科) 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科) 宇都宮東武ホテルグランデ6F龍田の間
- 1991.12 日本循環器学会関東甲信越地方会第142回例会 「亜急性進展を呈した炎症性三尖弁狭窄の1症例」 座長・杉田洋一 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科)
- 1992.1.25 第32回循環器談話会 「後天性三尖狭窄の一例」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科) 東京
- 1992.5.9 第121回日本結核病学会関東支部・第99回日本胸部疾患学会関東地方 「診断が困難であったびまん性胸膜中皮腫の1症例」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科) 東京
- 1992.5.12 第32回日本胸部疾患学会総会プログラム 「肺癌に対する近年の化学療法 (CBDCAを主体とする)の有用性についての検討」 演者・谷田貝茂雄 北海道
- 1992.7.1 第74回「肺と心」研究会 「呼吸器症状で発症した多発性筋炎に合併した間質性肺炎の一例」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科) 国立栃木病院
- 1992.11.14 第69回臨床呼吸生理研究会 「心疾患患者における安静呼吸時気道抵抗と肺内水分量との関係一殊にニトログリセリン舌下投与のよる検討」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科) 関東通信病院講堂
- 1993.1.23 第13回北関東循環不全研究会 「左冠動脈閉鎖による局所心筋 anoxia 作成時左室最大収縮力の評価一殊に postextrasystolic potentiated beat より求めた Pmax および Ees による一」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科) 宇都宮グランドホテル
- 1993.2.19 第4回栃木県呼吸器不全研究会 「Steroid剤が著効したBOOPの一症例」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科) 栃木県総合文化センター
- 1993.3 日本循環器病学会総会 「低酸素性肺血管収縮に対するニトログリセリンの効果」 座長・中元隆明 (獨協医科大学第一内科) 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科)
- 1993.7.14 第72回「肺と心」研究会 「サルコイドーシスを疑った縦隔内リンパ節腫脹の一症例」 座長・山田吾郎 (獨協医科大学アレルギー内科) 演者・谷田貝茂雄 (国立栃木病院) 国立栃木病院管理棟2Fカンファレンスルーム
- 1993.9 スパルフロキサシ、新発売記念講演会 「Sparfloxacinの呼吸器領域への移行性に関する検討」 演者・谷田貝茂雄 (国立栃木病院内科) 宇都宮
- 1993.9.4 第66回日本気管支学会関東支部会 「気管支粘膜に著明な血管増生を認めた一症例」 演者・谷田貝茂雄 (獨協医科大学第一内科) 山之内製薬(株)本社
- 1993.10 第48回国立病院療養所総合医学会総会 「来院時心電図変化に乏しかったが、myocardial stunningの状態と考えられ異なる経過を示した2症例」 演者・谷田貝茂雄、石川明子 札幌
- 1993.10 スパルフロキサシ、新発売記念講演会 「Sparfloxacinの呼吸器領域への移行性に関する検討」 演者・谷田貝茂雄 (国立栃木病院内科) 筑波

- 1993.11 第18回栃木県消化器内視鏡懇話会「活性酸素産生能の動態を追及しえたクローン病の1例」演者・谷田貝茂雄、沢口健太郎 宇都宮
- 1994.9.9 電解質輸液療法研究講演会～ソリタックス-H販売一周年記念～「肺癌化学療法におけるソリタックス-Hの使用経験」演者・谷田貝茂雄(国立栃木病院内科) ホテル東日本宇都宮
- 1994.9.20 第37回肺癌勉強会「原発性肺癌に対し術前化学療法を行った2症例」谷田貝茂雄(国立栃木病院内科)
- 1994.10.19 第81回「肺と心」研究会「急激に発育した転移性心臓腫瘍の1症例」谷田貝茂雄(国立栃木病院内科) 宇都宮
- 1994.12.1 栃木県胸部疾患研究会「肺門型非小細胞肺癌に対するシスプラチン気管支動脈内投与に塩酸イリノテカンの全身投与を併用した化学療法について」演者・谷田貝茂雄、町田優(国立栃木病院内科) 宇都宮
- 1995.1.18 これだけは知っておきたい一般医のためのセミナー「当院における心臓カテーテル検査(開業医の先生からの紹介例を中心に)」演者・谷田貝茂雄、木村光宏(国立栃木病院内科) 宇都宮
- 1995.1.25 クラビット発売一周年記念シンポジウム「レボフロキサシンの呼吸器感染症に対する効果について」演者・谷田貝茂雄(国立栃木病院呼吸器内科) 宇都宮東武ホテルグランデ6F 龍田の間
- 1995.2.1 第22回日本集中治療学会総会「集中治療室で人工呼吸器を行っている患者の肺換気シンチグラフィについて」演者・谷田貝茂雄(獨協医科大学集中治療室) 大阪
- 1995.2.14 第38回栃木県肺癌勉強会「原発性肺癌の縦隔内転移に対するシスプラチン気管支動脈内投与の検討」演者・谷田貝茂雄(国立栃木病院内科) 国立栃木病院
- 1995.2.15 これだけは知っておきたい一般医のためのセミナー「肺癌診断のためのプロセス(開業医の先生からの紹介を中心に)」演者・谷田貝茂雄、木村光宏(国立栃木病院内科) 宇都宮
- 1995.5.1 第35回日本胸部疾患学会総会「シスプラチンと塩酸イリノテカンの全身投与を併用した原発性肺癌に対する化学療法の検討」演者・谷田貝茂雄(国立栃木病院内科) 名古屋
- 1995.5.2 第35回日本胸部疾患学会総会「シスプラチンの気管支動脈内注入と塩酸イリノテカンの全身投与を併用した肺門型非小細胞肺癌に対する化学療法の検討」演者・谷田貝茂雄(国立栃木病院内科) 名古屋
- 1995.6.22 第5回栃木県胸部疾患研究会「シスプラチンと塩酸イリノテカンを併用した全身療法と気管支動脈内注入療法の副作用と効果についての検討」谷田貝茂雄 宇都宮
- 1995.9.19 第39回栃木県肺癌勉強会「原発性肺癌の縦隔内転移に対するシスプラチン気管支動脈内投与の検討」谷田貝茂雄 宇都宮
- 1995.10 第32回日本臨床生理学会総会「Levofloxacinの呼吸器領域(喀痰および肺組織)への移行性に関する検討」演者・谷田貝茂雄(国立栃木病院内科) 札幌
- 1995.10 第32回日本臨床生理学会総会「肺癌化学療法における末梢からの12.5%ブドウ糖加多電解質維持液(SolitaxR-H)の効果」演者・谷田貝茂雄(国立栃木病院内科) 札幌
- 1995.10 心不全治療薬「アカルディカプセル」症例検討会「拡張型心筋症による慢性心不全に対するアカルディの使用経験」谷田貝茂雄
- 1995.10.6 心不全治療薬「アカルディカプセル」症例検討会「拡張性心筋症による慢性心不全に対するアルカディの使用経験」演者・谷田貝茂雄(獨協医科大学第一内科)
- 1995.12.7 第6回栃木県胸部疾患研究会「切除不能肺癌治療の当院における現況」演者・谷田貝茂雄(国立栃木病院内科) 宇都宮
- 1996.12.13 第9回日本外科感染症研究会「レボフロキサシンの呼吸器領域への移行性について」座長・品川長夫(名古屋市厚生院外科) 演者・谷田貝茂雄(日本医科大学第一外科)
- 1997.9.13 第16回合同医学集体会「当院外科における最近一年間の高齢者手術の現状」座長・岩井壽生(府中恵仁会病院) 演者・谷田貝茂雄(博慈会記念総合病院)
- 2000.2.18 あったか医・健康講演会「「あったか医」には、どうしたら出会えるのか?・開業医と病院(勤務医)での対応は?・直接(市民・患者の立場で)、間接(紹介者を通して)」演者・谷田貝茂雄(やたがいクリニック) 文京区シビックセンター区民会議室4階-B
- 2000.10.15 ライフプラン「「医者が勧める健康生活」ひとは誰でも間違える ヒューマンエラーと医療控訴」演者・谷田貝茂雄(やたがいクリニック)
- 2000.10.24 ライフプラン「知って得する病気と健康の話・「かかりつけ医」をお持ちですか(突然起こる心筋梗塞、脳梗塞のこと)」演者・谷田貝茂雄(やたがいクリニック)
- 2004.10.13 研究会「GERDの診断と治療にQUEST問診票による研究」谷田貝茂雄(やたがいクリニック) 銀座アスター
- 2004.11.19 第6回足立荒川生活習慣病談話会「医師の立場から見た医療(案)～薬剤情報提供書の問題点～」演者・谷田貝茂雄(やたがいクリニック) THEATRE1010(シアターセンジュ)
- 2005.3.18 獨協医学会学術講演会「薬剤情報提供書の問題点について」座長・中村仁(中村内科小児科医院) 演者・谷田貝茂雄(やたがいクリニック院長) ホテルラングウッド2F ばらの間
- 2006.4.21 獨協医科大学同窓会東京支部会東北城東地区学術研究会「足立荒川区住民検診の結果からみるメタボリック症候群」座長・永島和幸(財団法人心臓血管研究所付属病院内科部長) 演者・谷田貝茂雄(やたがいクリニック) 浅草ビューホテル3F 梓雲の間
- 2006.8.2 獨協の集い「降圧薬の服薬コンプライアンス」座長・大野邦彦(大野醫院) 演者・谷田貝茂雄(やたがいクリニック) ホテルメトロポリタン25F ジュビター
- 2006.9.17 日本臨床内科医学会「頸動脈エコー検査」座長・広沢光郎(東京内科医会常任理事) 演者・谷田貝茂雄(東京内科医会理事) 東京プリンスホテルパークタワーコンベンションホール
- 2006.10.20 第32回浅草整形外科開業医会 ミニ講演会 座長・滝口明(滝口外科胃腸科整形外科) 演者・谷田貝茂雄(やたがいクリニック) 川松別館
- 2007.5.21 経営者モーニングセミナー「医者のかかりかた(ひとりに2カ所のかかりつけ)」座長・堀田澄子(荒川区倫理法人会副会長) 演者・谷田貝茂雄(やたがいクリニック院長)
- 2007.7.19 足立区医師会講演会「ヒューマンエラーと医療訴訟について」座長・須藤秀明(城北診療所院長) 演者・谷田貝茂雄(やたがいクリニック院長) 足立区医師会館3F ホール
- 2007.9.1 誰でもできる生活習慣改善講座「食事と薬剤の誤解について」座長・須藤秀明(城北診療所院長) 演者・谷田貝茂雄(やたがいクリニック院長) 北とびあ7F 会

議室

- 2007.10.1 日本高血圧学会総会 谷田貝茂雄 東京女子医科大学東医療センター
- 2008.2.17 東京内科医会第24回セミナー「メタボリックシンドロームと特定検診」 演者・谷田貝茂雄（東京内科医会理事） 明治安田生命ホール
- 2008.2.18 荒川区倫理法人会経営者モーニングセミナー「医者のかかりかたパート2～自覚症状なく進行する癌と動脈硬化、突然起こる脳卒中と心筋梗塞～」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） ホテルラングウッド 3F 桜の間
- 2008.3.13 世田谷獨協会「開業医の高血圧治療～ARBのエビデンスを日常診療に活かすため～」 座長・菅正剛（菅外科整形外科医院） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） セルリアンタワー東急ホテル 39F セレステ
- 2008.4.26 文京区倫理法人会100社モーニングセミナー「「医者のかかりかた」～ひとりに2カ所のかかりつけを～」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 東京ガーデンパレス
- 2008.5.26 荒川区倫理法人会スペシャルモーニングセミナー「医者のかかりかたパート3～医療、薬剤、食べ物の誤解について～」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） ホテルラングウッド 3F 桜の間
- 2008.6.26 第81回NPO法人市民と医療を結ぶ会市民公開講演会「医者のかかり方」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 文京シビックホールセミナー会議室
- 2008.7.25 学術講演会「EBMにもとづいたARBの使い分け」 座長・大野邦彦（大野病院） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） ホテルメトロポリタン 25F マーキュリー
- 2008.8.30 東京都倫理法人会モーニングセミナー「医者のかかりかた～かかりつけの開業医と専門病院～」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長）（有）フェニックスアイ
- 2008.9.10 AstraZeneca Primary Care Symposium「実地臨床でのロスバスタチンの効果」 座長・須藤秀明（城北診療所院長） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 山の上ホテル 2F つつじの間
- 2008.9.24 第8回城北軽症糖尿病研究会「みんなで考える薬剤情報提供書の上手な使い方」 座長・増田幹生（共和堂医院院長） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） ホテルラングウッド 5F 暁
- 2008.10.5 東京内科医会市民セミナー2008「健診結果の読み方 糖と脂質代謝」 座長・山田淑子（東京内科医会理事） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 新宿住友ビル 47F スカイルーム
- 2008.10.16 東京内科医会平成20年度心臓・頸動脈エコー実地研修会「頸動脈超音波検査の実演」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 東芝メディカルシステムズ首都圏支社東京支店 6F 会議室
- 2008.10.30 東京内科医会平成20年度心臓・頸動脈エコー実地研修会「心臓超音波検査の実演」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 東芝メディカルシステムズ首都圏支社東京支店 6F 会議室
- 2009.3.5 世田谷獨協会「人は誰でも間違える～ヒューマンエラーと医療訴訟」 座長・菅正剛（菅外科整形外科医院） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 渋谷エクセルホテル東急 6F フォレスト
- 2009.7.31 目黒区医師会レセプトオンライン請求説明会「レセプトオンライン化に本当に必要な準備とは何か」 座長・岩井芳弘（理事） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック）
- 2009.8.5 第2回レセプトオンライン請求に関する勉強会「レセプトオンライン化に本当に必要な準備はなにか」 座長・高田潤（足立区医師会理事） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長）
- 2009.10.1 世田谷獨協会「レセプトオンライン化に向けて」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 南国飯店
- 2009.10.1 OPEN COLLEGE 医者がすすめる健康生活 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 獨協大学
- 2009.10.4 東京内科医会市民セミナー2009「お薬情報書のみかた」 座長・吉田幸子（東京内科医会理事） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 新宿住友ビル 47F スカイルーム
- 2009.10.8 城西医療フォーラム「レセプトオンライン化で本当に必要な準備とは何か？エンドユーザーからの立場から」 座長・永島和幸（心臓血管研究所付属病院循環器科部長） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 中野サンプラザ 15F フォレストルーム
- 2009.10.15 東京内科医会心臓・頸動脈エコー実地研修会「頸動脈超音波検査の実演」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 秋葉原ダイビル 5F
- 2009.10.29 東京内科医会心臓・頸動脈エコー実地研修会「心臓超音波検査の実演」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 秋葉原ダイビル 5F
- 2009.11.26 公開講座市民健康の集い「ひとりに2カ所のかかりつけ医～かかりつけ開業医と専門病院～」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 四谷区民ホール
- 2010.1.28 第3回拡大がんボード「症例検討」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 順天堂大学 5号館 3F 会議室
- 2010.2.22 荒川区倫理法人会経営者モーニングセミナー「人は誰でも間違える～ヒューマンエラーと医療事故～」 谷田貝茂雄（やたがいクリニック） ホテルラングウッド 桜の間
- 2010.6.14 第二回荒川病診連携セミナー「ヒューマンエラーと日常診療」 金口忠彦（しらびげ西クリニック院長）、谷田貝茂雄（やたがいクリニック） ホテルラングウッド 6F 彩林
- 2010.7.3 あらかわボランティアネットワーク第1回講演会「医者のかかりかた～ひとりに2カ所のかかりつけ～」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 荒川山吹ふれあい館 洋1・2
- 2010.9.15 足立区医師会学術講演会「頸動脈超音波のコツとビットフォール」 座長・須藤秀明（城北診療所院長） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長、東京内科医会理事） 足立区医師会館 3F ホール
- 2010.11.13 アフタヌーンセミナー「ひとりに、2ヶ所のかかりつけを～ホームドクターと専門病院～」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 丸橋商会 3F 集会室
- 2010.11.18 東京内科医会「心臓・頸動脈エコー実地研修会」 「心臓超音波検査の実演」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 興和株式会社東京支店 11階第一会議室
- 2010.11.25 東京内科医会心臓・頸動脈エコー実地研修会「頸動脈超音波検査の実演」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 興和株式会社東京支店 11階第一会議室
- 2011 「あらたに本態性高血圧患者と診断されテルミサルタンの内服を開始した連続34症例の検討（忍容性と降圧効果について）」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック）
- 2011.2.5 健康教室「一人に2ヶ所のかかりつけを」 ホー

- ムドクターと専門病院」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 希望の家地下多目的ホール
- 2011.7.14 勉強会「東京医療連携手帖を使用した”がん医療連携”」 座長・稲沢知二（稲沢内科医院） 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 浅草ビューホテル 4F 言問
- 2012.1.17 平成 24 年度医学生、研修医、大学院生等をサポートするための会「麻酔科 3 年、内科 10 年、外科 4 年、それぞれの大学で専攻し開業医になった訳」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 順天堂大学 10 号館 8 階 803 号室
- 2012.3.22 健康セミナー「ドクターと『アッ!』と思う健康について」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 院長、医学博士） ホテルラングウッドサニーホール 5F 会議室
- 2012.12.1 健康セミナー「ドクターが話す健康について」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 院長、医学博士） ホテルラングウッドサニーホール 5F 会議室
- 2013.2.27 DSP エリアフォーラム「胸の痛みと狭心症～それって虚血?～」 座長・永島和幸（心臓・血管研究所 附属病院 循環器内科 冠動脈疾患担当部長） 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） ホテルパークサイド 2F 寿の間
- 2013.3.28 健康セミナー「ドクターが話す健康について」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） ホテルラングウッド 5F 会議室
- 2013.10.10 東京内科医会平成 25 年度心臓・頸動脈エコー実地研修会「頸動脈超音波検査の実演」 座長・清水恵一郎 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 院長） 興和株式会社東京支店 11 階第一会議室
- 2013.11.6 荒川区・足立区 抗凝固療法 Network Meeting「高齢心房細動患者への薬剤選択～プライマリケア医の立場から～」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 東京ドームホテル 42F アリエス
- 2013.11.21 東京内科医会平成 25 年度心臓・頸動脈エコー実地研修会「心臓超音波検査の実演」 座長・清水恵一郎 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 興和株式会社東京支店 11 階第一会議室
- 2014.2.16 東京内科医会第 30 回セミナー「内部疾患の最近の動向」 「循環器疾患」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 新宿明治安田生命ホール
- 2014.2.21 座談会「高血圧薬物治療戦略」 座長・渡辺尚彦（東京女子医科大学東医療センター内科准教授） 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 武田薬品工業浅草北営業所会議室
- 2014.3.12 城東認知症カンファレンス 2014「専門医ではない開業医が遭遇した認知症を疑う 4 症例」 座長・阿部哲夫（あべクリニック） 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 院長） 浅草ビューホテル
- 2014.3.16 東京内科医会第 27 回医学会「内科疾患ピットフォールと医療訴訟『循環器疾患』」 演者・谷田貝茂雄（東京内科医会常任理事） 京王プラザホテル 5F コンコード A
- 2014.6.27 第 16 回木村病院地域医療連携の会「訪問医療と病院との連携」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 木村病院リハビリテーション室
- 2014.7.19 第 47 回栃木県獨協医会「ナラティブ・ベイスド・メディシン～吉田卓司先生の真実～」 座長・益田俊英（益田内科医院院長） 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 院長、獨協医科大学 心臓・血管内科非常勤講師） ホテル東日本宇都宮
- 2014.11.26 Abbott おなかケアセミナー—便秘治療を考える—「開業医が行う便秘治療の実際」 座長・五十嵐利一（いがらしクリニック） 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 浅草ビューホテル 4F 駒形
- 2015.1.22 城東認知症カンファレンス 2015「common disease となった認知症にどう対応するか」 座長・柴田興一（東京女子医科大学東医療センター内科准教授） 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 浅草ビューホテル
- 2015.3.14 東京内科医会第 28 回医学会「将来の汎用性を見据えたテラーメイドの医療 IT 導入について」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 新宿明治安田生命ホール
- 2015.6.26 Takeda MR power up seminar「ガイドラインの沿革から考える高血圧診療」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 武田薬品工業株式会社東京第一営業所
- 2015.7.23 健康セミナー「ドクターが話す健康、病気を克服した経験談」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） ホテルラングウッドサニーホール
- 2015.9.15 ふれあい枠・活サロン「さわやか出会いサロン」 「健康講座」 谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 院長） 三河島ひろば館
- 2015.10.14 睡眠フォーラム「専門でない開業医が行う不眠症治療のジレンマ」 座長・須藤秀明（城北診療所） 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 浅草ビューホテル 3F 祥雲 I
- 2015.10.15 京内科医会平成 27 年度心臓・頸動脈エコー実地研修会「頸動脈超音波検査と全身の動脈硬化」 座長・安田洋（目黒通りハートクリニック） 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 興和株式会社東京支店 11 階第一会議室
- 2015.10.18 平成 22 年度心臓エコー実施研修会 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 興和株式会社
- 2015.10.29 第 10 回獨協ハートセンターオープンカンファレンス IN 栃木「開業医が考える循環器疾患の病診連携」 座長・豊田茂（獨協医科大学心臓・血管内科准教授） 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 栃木グランドホテル 2F 鳳凰の間
- 2015.11.19 心臓超音波検査のレクチャーと実演 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 興和株式会社東京支店 11 階第一会議室
- 2015.11.25 平成 22 年度頸動脈エコー実施研修会 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 興和株式会社
- 2016.1.27 第 9 回同門会総会第 9 回ハートクラブカンファレンス「自由行動下の生活血圧をリアルタイムで知るウェアラブルデバイスの開発」 座長・小川研一（東戸塚記念病院） 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 院長） 宇都宮東武ホテルグランド 6F 龍田
- 2016.3.12 東京内科医会第 29 回医学会「レセコンデーターを用いた自院糖尿病患者の状況把握～日医総研 MICAN の活用～」 座長・鳥居明（東京内科医会常任理事） 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 院長） 明治安田生命ホール
- 2016.4.22 第 4 回荒川未来塾「開業医が行う在宅診療のジレンマ」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 和民町屋店
- 2016.5.20 第 6 回東東京循環器ネット「開業医による循環器診察の問題点～症例を提示して～」 座長・清水渉（日本医科大学大学院医学研究科 循環器内科学分野大学院教授）、演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 浅草ビューホテル 4F 飛翔 III
- 2016.6.25 医療セミナー「健康に無関心でも無関係ではいられない」 演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） ホテル椿山荘東京カシオペア

2016.6.27 睡眠フォーラム 「長期処方になって半年 ベルソムラの立ち位置」 座長・須藤秀明（城北診療所院長）
 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 上野精養軒 3F 桜の間

2016.7.14 健康セミナー 「ドクターが話す健康の話」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） ホテルラングウッド 5F 会議室

2016.10.26 平成 28 年度医学生、研修医、女性医師をサポートするための会 「麻酔科医、内科医、大学院、外科医から開業して」 座長・吉住正孝（順天堂大学医学部付属練馬病院循環器内科） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 順天堂大学練馬病院 2 号館 2 階大会議室

2017.6.16 Lipid treatment seminar（症例発表）「当院における PCSK9 の使用経験」 座長・須藤秀明（城北診療所院長） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック院長） 浅草ビューホテル 4F 吾妻

2017.9.15 第 82 回日本泌尿器科学会東部総会 「内科開業医のおこなう在宅診療の実際」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 品川プリンスホテル

2017.11.5 日本臨床生理学会第 54 回総会 「スマホ連携リスト型ウェアラブル血圧計の開発」 座長・小川研一（東戸塚病院） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 栃木県総合文化センター

2018.11.30 第 9 回埼玉 D.D.I.N カンファレンス 「脂質ガイドラインの沿革からみた開業医高コレステロール血症診断と治療」 座長・田口功（獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科主任教授） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） ラフレさいたま 5F 橋の間

2019.1.9 第 10 回同門会総会第 10 回ハートクラブカンファレンス 「ここまでできる開業医が行う高 LDL 血症の診断と治療」 座長・原澤寛（獨協医科大学日光医療センター） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 宇都宮東武ホテルグランデ 6F 龍田

2019.7.17 荒川区地域連携講演会 「専門でない開業医のための糖尿病診療」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） ホテルラングウッドばらのま

2019.9.27 城東循環器セミナー 「開業医の行う心房細動診療」 座長・中岡隆志（東京女子医科大学東医療センター内科准教授） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 浅草ビューホテル 4F こま

2019.10.18 東東京循環器ネット 「当クリニックから日本医科大学心臓血管外科へ紹介した心房細動の 3 症例について」 座長・有野亨（山一ビル内科クリニック） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 浅草ビューホテル 4F

飛翔 I

2020.11.9 不眠症診療 Web セミナー 城東地区不眠症治療について考える会 「専門医でない開業医が考える不眠症治療～レンボレキサントの使用経験を含めて～」 座長・日々澤肇（日々澤病院） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック）

2020.11.20 Joto Hearts & Brain Conference 「開業医が診る心房細動—DOAC 処方—の道標—」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック）

2021.5.21 市民セミナー「多職種で在宅医療を支える～医療・介護それぞれの視点・経験から～」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック・院長）、里秀一郎（チームウェル・ケアマネジャー）、後藤麻衣子（デイスサービスみらい町屋・看護師）、三浦啓一（いちご薬局・薬剤師）、飯塚久美（ガイア訪問看護ステーション日暮里・看護師）

2021.6.23 城東エリア WEB カンファレンス～Real World と抗血栓療法 「開業医が診る心房細動—DOAC の道標—」 座長・上野克仁（葛飾南クリニック院長） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック）

2021.6.29 「ある困難事例を振り返って」～多職種、それぞれの立場から～ 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック）、正村由己 訪問看護師（いきいき SUN 訪問看護リハビリステーション荒川支店）、三浦啓一 薬剤師（いちご薬局）、渡邊麻美 訪問介護員（訪問介護事業所リアン荒川）、勝又桐子 管理者（デイスサービスみらい）、里秀一郎 介護支援専門員（チームウェル）、白川駿 看護師・管理者（いきいき SUN 訪問看護リハビリステーション荒川支店）

2021.9.4 高血圧診療実地医家ネットワーク講演会 座長・勝谷友宏（大阪大学臨床遺伝子治療学招聘教授） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） メディカルトリビューン

2021.10.17 第 43 回日本高血圧学会総会 「社会を変えたい実地医家の勢いある活動と J-DOME 推進」 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） オンライン開催

2021.11.28 日本在宅医療連合学会大会シンポジウム 座長・曾我幸弘（東京女子医科大学救急学講座） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） オンライン開催

2021.12.13 ARNI シンポジウム～脳卒中・循環器病予防のための血圧管理～ 座長・藤井教雄（西島病院） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック）

2022.2.19 日本医科大学地域医療を考える 「私の歩んだ道～現在・過去・未来～」 座長・横堀将司（日本医科大学救急医学教授） 演者・谷田貝茂雄（やたがいクリニック）

学会・講演会座長

1994.11.18 日本臨床生理学会総会 「Sparfloxacin の呼吸器領域（肺組織、気管支局所分泌液、喀痰）への移行性に関する検討」 座長・谷田貝茂雄（国立栃木病院） 演者・高橋圭司 谷田貝茂雄（国立栃木病院内科） 大阪

1994.11.18 日本臨床生理学会総会 「Sparfloxacin の呼吸器領域への移行性に関する検討（時間的経過と喀痰中以降率）」 座長・谷田貝茂雄（国立栃木病院） 演者・池森邦夫、谷田貝茂雄（国立栃木病院内科） 大阪

2003.11.25 勉強会 「IBS の今日的とらえ方」 座長・谷田貝茂雄（やたがいクリニック）、演者・坂本長逸（日本医科大学付属病院第三内科教授） 浅草ビューホテル 27F 「中国料理 唐紅花」

2004.5.28 虚血性心疾患学術講演会 「虚血性心疾患の早期

発見における心臓ドッグの役割」 座長・谷田貝茂雄 演者・永島和幸（心臓血管研究所付属病院 内科部長） 浅草ビューホテル 4F 駒形

2004.7.1 第 1 回荒川区研究会 「「気管支喘息の診断と治療」—外来でよく遭遇する治りにくい咳を含め—」 座長・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 演者・向山徳子（同愛記念病院小児科部長） 浅草ビューホテル 27F 「中国料理 唐紅花」

2004.9.30 学術講演会 「フィールド時間医学と高血圧」 座長・谷田貝茂雄（やたがいクリニック） 演者・大塚邦明（東京女子医科大学付属第二病院教授） 東京會館 11 階シルバールーム

2004.11.25 第 2 回荒川区研究会 「IBS の今日的とらえ方」

- 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・坂本長逸（日本医科大学付属病院第三内科教授）
- 2005.5.19 第3回荒川区研究会「COPDとマクロライド」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・工藤翔二（日本医科大学付属病院第四内科主任教授）
- 2005.5.21 第154回臨床研究会「癌を合併したCronkhite-Canada症候群の1例」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・阿部剛（東邦大学医学部付属大橋病院消化器内科教授・診療部長）東邦大学医学部付属大橋病院教育棟1F臨床講堂
- 2005.6.9 第2回武蔵川部屋「勝つために何をするか」勉強会「勝つために！ハングリーからアカデミック（知恵と工夫で勝つ）」演者・谷田貝茂雄（やたがいくリニック、日本体育協会スポーツドクター）
- 2005.6.22 勉強会「アレルギー膠原病科からみた咳」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）演者・猪熊茂子（都立駒込病院アレルギー膠原病科）浅草ビューホテル27F「中国料理 唐紅花」
- 2005.6.24 獨協医科大学東京支部会 城東東北部学術講演会「メタボリック症候群における眼科的リスク」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）演者・妹尾正（獨協医科大学眼科助教授）浅草ビューホテル4F吾妻
- 2005.6.24 獨協医科大学東京支部会 城東東北部学術講演会「メタボリック症候群と虚血性心疾患」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）演者・堀中繁夫（獨協医科大学循環器内科助教授）浅草ビューホテル4F吾妻
- 2005.9.14 第27回東京消化器病研究会「『肝臓病の最近の話題』—非アルコール性脂肪肝炎の臨床—」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）演者・森山光彦（日本大学医学部内科学講座消化器肝臓内科学部門助教授）エーザイ株式会社別館404会議室
- 2005.9.29 第2回日本医大消化器内科医療連携会「パレット腺癌のEMR実施症例」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）演者・田中由理子（日本医科大学付属病院消化器内科）日本医科大学付属病院橋桜会館2F
- 2005.9.29 第2回日本医大消化器内科医療連携会「原因不明の肝障害 胆管細胞癌と診断された症例」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）演者・福田健（日本医科大学付属病院消化器内科）日本医科大学付属病院橋桜会館2F
- 2005.10.22 平成17年度獨協医科大学同窓会「腎疾患の最近の話題」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）演者・上田善彦（獨協医科大学越谷病院病理部）ホテルメトロポリタン3Fカシオペア
- 2005.11.16 第3回三栄ケアセンター市民講座「日常に見られるもの忘れと認知症」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）演者・坂本静樹（日本医科大学付属病院神経内科）台東区生涯学習センター2Fミレニウムホール
- 2005.11.17 第4回荒川区研究会「耳鼻科領域に関連する咳嗽」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・大久保公裕（日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科助教授）
- 2006.1.13 獨協医科大学同窓会東京支部会城東東北部学術講演会「狭心症、心筋梗塞治療の今昔」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）演者・阿部七郎（獨協医科大学心血管・肺内科講師）浅草ビューホテル4F駒形
- 2006.3.11 第19回医学会「糖尿病性神経障害の診断におけるアキレス腱反射の意義」座長・谷田貝茂雄（東京内科医会理事）演者・菅原正弘（練馬区医師会）明治安田生命ホール
- 2006.6.22 第5回荒川区研究会「アレルギー・リウマチ領域からみた咳と呼吸苦」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・猪熊茂子（都立駒込病院アレルギー膠原病科部長）
- 2006.8.30 獨協医大（足立・葛飾・荒川地区）有志の集い「過活動膀胱（OAB）について」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）演者・沖守（成守会クリニック）ソフィテル東京
- 2006.10.28 第163回臨床研究会「日常診療で遭遇する急性多関節炎の診断と治療」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）演者・岡田正人（聖路加国際病院膠原病内科副院長）聖路加国際病院2Fトイスラーホール
- 2006.11.30 第6回荒川区研究会「アレルギー・免疫異常を背景とした咳」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・猪熊茂子（都立駒込病院アレルギー膠原病科部長）
- 2007.1.27 CGA循環器研究会「CGAとしてのJ-SUCCESS」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・大塚邦明（東京女子医科大学東医療センター内科）経団連会館10Fルビー・ルーム
- 2007.3.22 第5回日本医大消化器内科医療連携会「早期十二指腸癌（球部）の1例」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・進藤智隆（日本医科大学付属病院消化器内科）日本医科大学付属病院橋桜会館2F
- 2007.4.5 第7回荒川区研究会「『医療訴訟の現状と対策』～サッカー・ワールドカップの悲劇～」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・小林弘幸（順天堂大学医学部附属順天堂医院 総合診療科 教授）
- 2007.5.15 糖尿病神経障害セミナー「糖尿病性神経障害の診断と治療」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・松岡健平（済生会渋谷診療所所長）ホテルラングウッド飛翔の間
- 2007.7.20 荒川区ラウンドテーブル・ミーティング「高齢者高血圧症治療の実際と今後の展望」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・大庭健三（日本医科大学老人科教授）上野精養軒2F松の間
- 2007.9.26 第6回日本医大消化器内科医療連携会「カプセル内視鏡の手技」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・藤森俊二（日本医科大学付属病院消化器内科）日本医科大学付属病院橋桜会館2F
- 2007.10.13 第168回臨床研究会 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）東京大学医学部付属病院中央診療病棟2 7F会議室
- 2007.11.15 勉強会「『自然免疫と獲得免疫について』～新たに判明した免疫システムの二重構造～」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）演者・高橋秀実（日本医科大学付属病院微生物学免疫学教室主任教授（東洋医学科部長兼任））浅草ビューホテル4F吾妻
- 2007.11.18 第37回東京消化器病研究会「早期胃癌に対する内視鏡外科治療」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・木山輝郎（日本医科大学外科准教授）エーザイ別館404
- 2008.2.13 第7回城北軽症糖尿病研究会「特定検診・特定保健指導と糖尿病治療」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・船山秀昭（船山医院）ホテルラングウッド5F暁
- 2008.3.8 東京内科医会第21回医学会 座長・谷田貝茂雄（東京内科医会理事）
- 2008.3.12 第7回日本医大消化器内科医療連携会「長期間持続した原因不明の腹痛の1例」座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長）演者・山田祐希江（日本医科大学付属病院消化器内科）日本医科大学付属病院橋桜会館2F

2008.5.22 勉強会 「COPDの薬物療法について」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック院長) 演者・木田厚瑞(日本医科大学呼吸器内科教授、日本医科大学呼吸器ケアクリニック所長) 浅草ビューホテル 4F 吾妻

2008.7.2 糖尿病神経障害セミナー 「高齢者糖尿病足病変診察のポイント」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック院長) 演者・中野博司(日本医科大学老人科准教授) ホテルラングウッド飛翔の間

2008.7.12 第5回東京都城東地区耳鼻咽喉科地域医療研究会 「顔面神経麻痺の鍼治療—回復が遅れている?—と聞いたら—」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック院長) 演者・蛭子慶三(東京女子医科大学東洋医学研究所 鍼灸臨床施設 鍼灸主任) ホテルラングウッド

2008.7.23 高血圧症フォーラム～血管を考える～ 「脈波速度(PWV)を高血圧診療に活かす～そのエビデンスと実際～」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック院長) 演者・椎名一紀(東京医科大学循環器内科助教授) 浅草ビューホテル

2008.9.6 東京内科医会学術講演会 「遺伝子解析による糖尿病治療」 座長・谷田貝茂雄(東京内科医会常任理事) 演者・山崎義光(大阪大学先端科学イノベーションセンター招聘教授、株式会社サインポスト代表取締役社長) ベルサール八重洲

2008.10.8 獨協医科大学OB会糖尿病フォーラム 「糖尿病患者におけるインスリン導入療法について」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック院長) 演者・犬飼敏彦(獨協医科大学越谷病院内分泌代謝・血液・神経内科) 山の上ホテル本館 2F つつじ

2008.10.25 「大阪市生野区における在日コリアン高齢者のQOLに関する比較研究」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック院長) 演者・文鐘鏗(大阪大学大学院医学系研究科)

2008.10.25 第172回臨床研究会 座長・谷田貝茂雄 秋葉原ダイビルカンファレンスフロアー

2008.12.10 日本医科大学・荒川区糖尿病医療連携会 「症例発表&ディスカッション」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック院長) 上野精養軒

2009.10.7 第10回城北軽症糖尿病研究会 「合併症予防のための血糖厳格管理」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック院長) 演者・植木浩二郎(東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科准教授) ホテルラングウッド 5F 光

2009.10.24 第17回獨協医科大学同窓会東京支部会 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・斎藤一之(順天堂大学法医学教室教授) ホテルメトロポリタン

2009.11.5 勉強会 「喫煙と肺がんを考える」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・高橋和久(順天堂大学医学部呼吸器内科) 浅草ビューホテル 4F 吾妻

2009.11.27 日本医科大学・荒川区医療連携会 「循環器内科 病診連携に関連した症例紹介」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・高野仁司(日本医科大学循環器内科講師) 上野精養軒 B1 銀杏

2009.12.9 第1回心血管フォーラム 「血管不全の観点からみた冠動脈疾患治療の今後」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック院長) 演者・井上晃男(獨協医科大学心臓血管内科) ホテルメトロポリタン 3F

2010.2.16 糖尿病診療セミナー 「糖尿病治療新時代～DPP4阻害剤について」 座長・谷田貝茂雄(東京内科医会常任理事、やたがいくリニック院長) 演者・鈴木吉彦(財団法人保険同人事業団理事、同付属診療所所長、日本医科大学客員教授) ホテルラングウッド飛翔の間

2010.9.4 東京内科医会学術講演会 「新型インフルエンザ

の治療 臨床的見地から—重症化の社会的背景と医学的要因—」 座長・谷田貝茂雄(東京内科医会理事) 演者・工藤宏一郎(国立国際医療研究センター国際疾病センター長) 東京ステーションコンファレンス 503 会議室

2010.9.16 勉強会 「がん診療センターを利用するにあたって」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・宮下正夫(日本医科大学付属病院がん診療センター部長) 浅草ビューホテル 4F 吾妻

2010.11.10 アレルギーフォーラム 「ロイコトリエンとアレルギー性鼻炎」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・後藤穰(日本医科大学耳鼻咽喉科講師) 上野精養軒 B1 銀杏

2011.1.26 第3回心・血管フォーラム 「心原性脳塞栓の塞栓源探し—心房細動だけですか?—」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・豊田茂(獨協医科大学心臓・血管内科講師) ホテルメトロポリタン 3F 朝日

2011.1.29 東京内科会学術講演会 「プライマリケア医のための疼痛コントロールのこつ～ペインクリニックの立場から～」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・大瀬戸清茂(東京医科大学麻酔化学教室教授) 京王プラザホテルエミネンスホール

2011.2.24 NMB循環器研究会 「NMB実践論」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック)、演者・岸本寛史(京都市医学部附属病院地域ネットワーク医療部准教授) 浅草ビューホテル 26F うぐいす

2011.7.29 荒川・台東区エリアフォーラム 「高血圧治療におけるARBの位置づけは?」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・島田和典(順天堂大学医学部循環器内科学准教授) ホテルパークサイド

2011.11.17 第4回NBM循環器研究会 「「頭痛・認知症治療におけるNBM」の価値」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・目々澤肇(目々澤医院) 浅草ビューホテル 26F うぐいす

2012.2.10 漢方学術講演会 in 荒川 「精神神経疾患の漢方治療—高齢者の治療を中心に—」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・加藤士郎(筑波大学附属病院臨床教授、野木病院・東洋医学科部長) ホテルラングウッド 5F 暁

2012.2.16 DSP消化器エリアフォーラム 「灘決するFGIDに対するFDの病態生理とその治療法」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・二神生次(日本医科大学消化器内科講師) 山の上ホテル別館 2F 海の間

2012.3.24 東京内科医会学術講演会 「ホルモンと血管を標的とした高血圧診断」 座長・谷田貝茂雄(東京内科医会常任理事) 演者・市原淳弘(東京女子医科大学高血圧・内分泌内科主任教授) 東京コンファレンスセンター品川 5F

2012.5.16 区東北エリア糖尿病セミナー 「糖尿病と冠動脈疾患・末梢血管疾患について」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・安武正弘(日本医科大学内科学講座(循環器・肝臓・老年・総合病態部門)准教授) ホテルラングウッド 2F 朱鷺

2012.7.21 東京内科医会学術講演会 「良質な血圧管理を考える」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・下澤達雄(東京大学医学部付属病院検査部講師) フォーシーズンズ椿山荘 4F アンフィシアター

2012.8.31 足立荒川内科医会学術講演会 「「N型Caチャール抑制の早朝ストレス性高血圧に対する有用性」—アチーブワンスタディの結果より—」 座長・谷田貝茂雄(やたがいくリニック) 演者・有野亨(山一ビル内科クリニック) ホテルメトロポリタンエドモント 2F 万里

- 2012.9.12 アレルギーフォーラム 「成人喘息の治療と管理」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・白坂邦隆（いがらしクリニック） 浅草ビューホテル 4F 吾妻
- 2012.10.31 心・血管フォーラム 「動脈硬化の程度を知る（頸動脈エコーとFMDを中心に）～テルミサルタンの内皮機能改善効果を含めて～」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・豊田茂（獨協医科大学心臓・血管内科准教授）
- 2012.11.15 第6回東京病診連携懇話会 「看護相談室における医療連携について」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・小尻智子（順天堂大学学部附属順天堂医院看護部看護相談室） 東京ガーデンパレス 2F 天空の間
- 2013.2.15 城北漢方セミナー 「「スギ花粉症の漢方治療」～最近注目されている気管支喘息合併例の治療も含めて～」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授） ホテルラングウッド 5F 光
- 2013.3.16 日本医事新報臨床医学セミナー 「麻酔医が語る帯状疱疹関連のマネジメント」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・山口茂樹（獨協医科大学医学部麻酔科） 秋葉原コンベンションホール
- 2013.6.26 糖尿病治療セミナー 「糖尿病患者の心血管病予後改善を考慮した治療戦略」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・高野仁司（日本医科大学循環器内科准教授） ホテルラングウッド 2F 朱鷺
- 2013.7.8 TAKEDA 健康フォーラム 「生体時計の謎に迫る～高血圧の時間医学～」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・大塚邦明（東京女子医科大学東医療センター 時間医学 老年総合内科教授） 浅草ビューホテル 3F 祥雲
- 2013.9.4 高血圧ミーティング 「降圧薬の時間療法」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・渡辺尚彦（東京女子医科大学東医療センター内科准教授、日本歯科大学病院内科臨床教授） 浅草ビューホテル 4F 言問
- 2013.9.5 Abbott Japan Medical Symposium 城東 「慢性便秘症における最新の診断と治療」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・鳥居明（鳥居内科クリニック院長） 浅草ビューホテル 4F 駒形
- 2013.9.25 城北漢方セミナー 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） シアター 1010
- 2013.10.9 獨協医科大学同窓会東京支部会企画学術講演会 「誰にでもできる慢性痛の薬物療法」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・山口重樹（獨協医科大学麻酔科教授） 山の上ホテル アネックス館 2F 海の間
- 2013.12.18 アレルギーフォーラム 「耳鼻科からみた咳嗽について」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・大久保公裕（日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科教授） 上野精養軒地下1階銀杏
- 2014.2.28 城北漢方セミナー 「「プライマリ・ケアのための消化器疾患と初めに覚えたい漢方処方」—腹痛、下痢、便秘の治療を中心に—」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） ホテルラングウッド 5F 光
- 2014.4.9 城東疼痛治療ワークショップ獨協医科大学同窓会東京支部会企画講演会 「慢性痛の治療戦略—NSAIDs、COX2I とオピオイドをいかに使い分けるか?—」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・濱口眞輔（獨協医科大学麻酔科学教授） 浅草ビューホテル 4F 言問
- 2014.5.28 糖尿病治療セミナー 「糖尿病治療の今後の展望」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・杉原仁（日本医科大学大学院 糖尿病内分泌代謝内科学分野教授） 東京ガーデンパレス 2F 天空
- 2014.8.21 ネシーナ併用効能の拡大&ロトリカ発売1周年記念講演会 「DPP 阻害薬・インスリン併用療法を中心に」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤光敏（加藤内科クリニック院長） ロイヤルパークホテル 2F 春海
- 2014.9.5 城北漢方セミナー 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授） シアター 1010
- 2014.10.15 アレルギーフォーラム 「小児性アレルギー性鼻炎」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・大久保公裕（日本医科大学耳鼻咽喉科・頭痛部外科） 上野精養軒地下1階 銀杏
- 2014.12.3 城東 Hypertension Expert Meeting 「減塩療法の有効性について」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・安東克之（北村記念クリニック） 浅草ビューリックカンファレンス ROOM4
- 2015.5.20 荒川区・足立区慢性疼痛治療講演会～かかりつけ医の『痛み』治療戦略～ 「誰にでもできる慢性痛の薬物治療」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・山口重樹（獨協医科大学麻酔科学講座） 浅草ビューホテル 4F 吾妻
- 2015.6.10 糖尿病治療セミナー 「SGLT-2 阻害薬の使用経験から～ダパグリフロジンの活かし方～」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤光敏（加藤内科クリニック院長） 浅草ビューホテル
- 2015.7.10 城北漢方セミナー 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）、加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） シアター 1010
- 2015.8.26 城東クリニカルカンファレンスセミナー 「薬剤性消化管障害と ABC 検診の現状」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・二神生爾（日本医科大学内科学消化器内科学准教授） 浅草ビューホテル 28F ベルベデール
- 2015.9.14 Arrhythmia Network Meeting 「心房細動に対するカテーテルアブレーションの実際」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）、岩崎雄樹（日本医科大学大学院医学研究科 循環器内科学分野） 庭のホテル東京 2F 燦
- 2015.10.7 城北漢方セミナー 「高齢者の頭痛・眩暈・認知周辺症状にしたい漢方処方」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） シアター 1010 視聴覚室
- 2015.11.30 エリキユース Meet The Specialist～心電図の診かた～ 「心房細動の診断と治療」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・清水渉（日本医科大学大学院医学科 循環器内科学分野大学院教授） 庭のホテルファンクションルーム蝶
- 2016.1.27 城北漢方セミナー 「高齢者の整形外科疾患と泌尿器科疾患の漢方治療」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック院長） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） ホテルラングウッド 6F 彩林
- 2016.6.22 糖尿病治療セミナー 「循環器領域における糖尿病診療と院内連携・病診連携」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・八島正明（日本医科大学付属病院循環器内科講師） 浅草ビューホテル 3F 祥雲
- 2016.9.14 アレルギーフォーラム 「咽喉頭疾患と異常感症」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）、大久保公裕（日本医科大学付属病院 耳鼻咽喉科教授） 上野精養軒 B1 銀杏

- 2016.10.5 城東消化器セミナー～便秘治療の最前線～ 「慢性便秘症における最新の診断と治療」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・鳥居明（鳥居内科クリニック） 浅草ビューホテル 3F 祥雲
- 2016.11.9 城北漢方セミナー 「総合診療医から見た漢方治療～臨床の立場から・呼吸器編～」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） シアター 1010 視聴覚室
- 2017.7.25 城東漢方セミナー 「消化器疾患の漢方～食欲不振、下痢と大腸炎、便秘～」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） シアター 1010 視聴覚室
- 2017.11.25 第25回DMU東京千葉臨床研究会 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） 山の上ホテル
- 2018.2.28 漢方セミナー 「かぜ症候群の漢方治療について」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） ホテルラングウッド 5F 光
- 2018.4.13 ARAKAWA テーブルミーティング 「循環器内科医からみた糖尿病治療」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・久保田芳明（日本医科大学付属病院循環器内科） アグネスホテルアンドアパートメント東京
- 2018.7.25 城東漢方セミナー 「消化器疾患の漢方～食欲不振、下痢と大腸炎、便秘～」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） シアター 1010 視聴覚室
- 2018.7.26 城東エリア神経疾患を共に学ぶ会 「病診病連携としてのツール『join』」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・高尾洋之（東京慈恵医科大学付属病院脳神経外科准教授） 永寿総合病院 3F 多目的ホール
- 2018.7.31 糖尿病セミナー 2018 「糖尿病と腎障害～糖尿病治療薬の腎保護効果を中心に～」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・酒井行直（日本医科大学大学院医学研究科 腎臓内科学分野准教授） 小野薬品工業株式会社東京支社 10F 会議室
- 2018.11.5 Diabetes & Circulation All Star Workshop in Nihombashi 「糖尿病治療薬のベストユースを再考する」「シダグリブチンのEBMを再考する」 座長・北澤公（都立駒込病院 糖尿病内科）、座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 小野薬品工業東京ビル 8F801
- 2019.2.1 BileAcid セミナー 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・佐藤一樹（医療法人社団いつき会 ハートクリニック） 浅草ビューホテル 4F 駒形
- 2019.3.6 Sleep Seminar in Joto 「うつ病早期反応・早期寛解への可能性～真の recovery を目指して～」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・村島善也（医療法人社団二誠会 メンタルクリニック葛西） 浅草ビューホテル 3F 祥雲 I
- 2019.3.12 Sleep Seminar in Joto 「うつ病早期反応・早期寛解への可能性～真の recovery を目指して～」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・村島善也（医療法人社団二誠会 メンタルクリニック葛西） 東武ホテルレバント東京 3F 芙蓉
- 2019.10.9 城東漢方セミナー 「高齢者疾患と補剤」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） シアター 1010 視聴覚室
- 2019.11.25 Sleep Seminar 「その患者さん、ただの不眠症と思いませんか？」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・北英二郎（医療法人明薫会 長嶺南クリニック） 浅草ビューホテル 3F 祥雲 I
- 2019.11.26 第27回DMU東京千葉臨床研究会 「整形外科医が語る痛みの診療～神経障害性疼痛と深部静脈血栓症～」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・藤乗嗣泰（獨協医科大学病院 血液浄化センター） ホテルメトロポリタンエンドモント 3F 春琴
- 2020.3.11 城東漢方セミナー 「女性のヘルスコントロールに役立つ3大漢方薬」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） ホテルラングウッド 5F 光
- 2020.8.25 循環器 Web Seminar 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック）、石井庸介（日本医科大学心臓血管外科大学院教授、日本医科大学付属病院副院長・医療安全管理部長）
- 2020.9.25 DM Team WEB カンファレンス 「糖尿病重症化予防 今求められる糖尿病医療連携」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・日吉徹（日本赤十字社医療センター 糖尿病内分泌科部長） 日本工業倶楽部会館 3F 中ホール
- 2020.10.28 城北漢方セミナー 「女性のヘルスコントロールに役立つ3大漢方薬」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長）
- 2021.2.11 東京内科医会第37回セミナー 「漢方概論と高齢者関連領域の漢方」 座長・谷田貝茂雄（東京内科医会常任理事） 演者・加藤士郎（筑波大学付属病院臨床教授、野木病院副院長） 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンタールーム C
- 2021.4.13 下町高齢者勉強会 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 「訪問リハビリでできること」 手塚洋介（岡田病院訪問リハビリテーション科長）、「訪問看護でできること」 菅谷真理（訪問看護ステーションみどり統括管理者）
- 2021.4.16 第15回東東京循環器ネット 「デバイス治療最近の進歩」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・林洋史（日本医科大学医学部 循環器内科学）
- 2021.6.21 これからの上部消化管疾患を考える～GERD 診療ガイドライン 2021～ 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・永原章仁（順天堂大学医学部消化器内科教授）
- 2021.6.30 城北漢方セミナー 「夏バテ・疲労倦怠感の漢方治療」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学臨床教授）
- 2021.8.25 DM Web カンファレンス 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・日吉徹（日本赤十字社医療センター糖尿病内分泌科） 丸の内センタービル 21 階
- 2021.11.27 獨協医科大学同窓会東京支部会 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・豊田茂（獨協医科大学心臓血管／循環器内科教授）
- 2022.1.26 荒川区地域連携講演会 「腰椎症・骨粗鬆症を経て」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・長谷川健司（荒川整形外科リハビリテーションクリニック院長）
- 2022.2.9 城東 Heart Conference 「心不全を合併した心房細動のマネジメント」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・合屋雅彦（東京医科歯科大学 循環器内科病院教授 不整脈センター センター長）
- 2022.2.16 城東漢方セミナー 「疼痛の漢方治療」 座長・谷田貝茂雄（やたがいくリニック） 演者・加藤士郎（筑波大学総合診療科臨床教授）

谷田貝 昂 業績集

著書・論文（筆頭著書のみ）

- 2016 Noboru Yatagai, Hiroya Ueyama, Tomoyoshi Shibuya, Keiichi Haga, Masahito Takahashi, Osamu Nomura, Naoto Sakamoto, Taro Osada, Takashi Yao, Sumio Watanabe : Obscure gastrointestinal bleeding caused by small intestinal lipoma a case report. *Journal of Medical Case Reports*, 2016 ; 10 (1) : 226
- 2016 谷田貝昂、村上敬、坂本直人、廣本貴史、立之英明、上山浩也、石川大、浅岡大介、澁谷智義、長田太郎、渡辺純夫：大腸巨大憩室から脱落した腸石性腸閉塞を内視鏡的に治療し得た1例. *Progress of Digestive Endoscopy*, 2016 ; vol 88 : 144-145
- 2017 谷田貝昂、小林修、渡辺大地、北川隆太、三好由里子、橋本周太郎、須山由紀、太田一樹、澁谷智義、長田太郎、八尾隆史、渡辺純夫：腸管気腫性嚢胞症を合併した潰瘍性大腸炎の1例. *Progress of Digestive Endoscopy*, 2017 ; vol 90 : 122-123
- 2019 Noboru Yatagai, Tsuyoshi Saito, Yoichi Akazawa, Takuo Hayashi, Yuka Yanai, Sho Tsuyama, Takashi Murakami, Hiroya Ueyama, Sumio Watanabe, Akihito Nagahara, Takashi Yao : Frequent loss of heterozygosity of SMAD4 locus and prognostic impacts of SMAD4 immunohistochemistry in gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation. *Hum Pathol.* 2019 Jun;88 : 18-26.
- 2019 Noboru Yatagai, Tsuyoshi Saito, Yoichi Akazawa, Takuo Hayashi, Yuka Yanai, Sho Tsuyama, Hiroya Ueyama, Takashi Murakami, Sumio Watanabe, Akihito Nagahara, Takashi Yao : TP53 inactivation and expression of methylation-associated proteins in gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation. *Virchows Arch.* 2019 Mar; 474(3) : 315-324.
- 2020 Yatagai N, Ueyama H, Ikemura M, Uchida R, Utsunomiya H, Abe D, Oki S, Suzuki N, Ikeda A, Akazawa Y, Komori H, Takeda T, Matsumoto K, Ueda K, Matsumoto K, Asaoka D, Hojo M, Tsuyama S, Hayashi T, Yao T, Nagahara A : Clinicopathological and Endoscopic Features of Raspberry-Shaped Gastric Cancer in Helicobacter pylori-Uninfected Patients. *Digestion.* 2020 Dec;15 : 1-8.
- 2020 谷田貝昂、上山浩也：上部消化管内視鏡診断アトラス. 医学書院, 2020, 144-145

学会発表・講演会（主演者のみ）

- 2012.6 第825回外科集談会 「下血を繰り返し手術治療を行った大腸 Angiodysplasia の1例」 谷田貝昂、油谷知毅、細矢徳子、林政澤、野坂俊壽（柏市立柏病院 外科） 東京
- 2014.3 第16回日本在宅医学会大会 「在宅緩和ケアを行った膵癌患者16例に関する検討 疾患の“軌道”を踏まえて適切な時期に適切な介入を行うために」 谷田貝昂、山田英人、川越正平（あおぞら診療所） 浜松
- 2015.9 第336回日本消化器病学会関東地方会 「下血を契機に発見された小腸脂肪腫の1例」 谷田貝昂、上山浩也、澁谷智義、芳賀慶一、高橋正倫、野村収、坂本直人、長田太郎、八尾隆史、渡辺純夫 東京
- 2015.12 第101回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 「巨大大腸憩室で形成された腸石の脱落によ

- り腸閉塞を引き起こした1例」 谷田貝昂、村上敬、坂本直人、廣本貴史、立之英明、上山浩也、石川大、浅岡大介、澁谷智義 東京
- 2016.12 第103回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 「腸管嚢胞様気腫症を合併した潰瘍性大腸炎の1例」 谷田貝昂、太田一樹、小林修、渡辺大地、北川隆太、三好由里子、橋本周太郎、須山由紀、黒田博之、澁谷智義、長田太郎、渡辺純夫（江東病院 消化器内科） 東京
- 2017.3 第103回日本消化器病学会総会 「LCIによる潰瘍性大腸炎粘膜治癒の評価」 谷田貝昂、小林修、渡辺大地、北川隆太、三好由里子、橋本周太郎、須山由紀、太田一樹、澁谷智義、長田太郎、八尾隆史、渡辺純夫（江東病院 消化器内科） 東京
- 2018.6 第107回日本病理学会総会 「Mechanism of TP53 inactivation in gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation」 Noboru Yatagai, Tsuyoshi Saito, Takuo Hayashi, Yoichi Akazawa, Yuka Yanai, Takafumi Hiromoto, Takashi Murakami, Takashi Yao 札幌
- 2018.10 UEGW2018 「Clinicopathologic impacts of TP53 and SMAD4 inactivation in gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation」 Noboru Yatagai, Tsuyoshi Saito, Yoichi Akazawa, Takuo Hayashi, Yuka Yanai, Sho Tsuyama, Hiroya Ueyama, Takashi Murakami, Sumio Watanabe, Akihito Nagahara, Takashi Yao Vienna
- 2018.11 第29回日本消化器癌発生学会総会 「Mechanism of TP53 and SMAD4 inactivation in gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation」 Noboru Yatagai, Tsuyoshi Saito, Takashi Yao 東京
- 2019.2 第21回九州拡大内視鏡研究会 「胃底腺への分化を示す低異型度上皮性腫瘍の一例」 谷田貝昂、赤澤陽一、上山浩也、阿部大樹、沖翔太郎、鈴木信之、池田厚、小森寛之、泉健太郎、竹田努、松本紘平、上田久美子、松本健史、北條麻理子、八尾隆史、永原章仁 福岡
- 2019.2 第91回日本胃癌学会総会 「TP53 inactivation mechanisms in GAED」 Noboru Yatagai, Tsuyoshi Saito, Akihito Nagahara, Takashi Yao 静岡
- 2019.5 新たな胃病変を考える会 「当院における Helicobacter pylori 未感染胃に生じた発赤調・隆起性病変の内視鏡的・臨床病理学的特徴」 谷田貝昂、上山浩也、池田厚、阿部大樹、鈴木信之、沖翔太郎、小森寛之、赤澤陽一、竹田努、泉健太郎、松本紘平、上田久美子、松本健史、北條麻理子、八尾隆史、永原章仁 東京
- 2019.11 UEGW2019 「Raspberry shaped gastric lesions in Helicobacter pylori-negative patients」 Noboru Yatagai, Hiroya Ueyama, Daiki Abe, Shotaro Oki, Nobuyuki Suzuki, Atsushi Ikeda, Yoichi Akazawa, Hiroyuki Komori, Tsutomu Takeda, Kentaro Izumi, Kohei Matsumoto, Kumiko Ueda, Kenshi Matsumoto, Daisuke Asaoka, Mariko Hojo, Takashi Yao, Akihito Nagahara Barcelona
- 2019.11 JDDW2019 「自然経過で消失した lymphomatoid gastropathy の2例」 谷田貝昂、上山浩也、永原章仁、阿部大樹、沖翔太郎、鈴木信之、池田厚、赤澤陽一、小森寛之、泉健太郎、竹田努、松本紘平、上田久美子、松本健史、北條麻理子、八尾隆史 神戸
- 2020.2 第16回日本消化管学会総会 谷田貝昂、上山浩也、池田厚、阿部大樹、沖翔太郎、鈴木信之、赤澤陽一、小森寛之、泉健太郎、竹田努、松本紘平、上田久美子、松本健史、北條麻理子、八尾隆史、永原章仁 姫路
- 2020.11 第28回 JDDW2020（第100回日本消化器内視鏡学会総会）「胃拡大内視鏡における胃表層微小血管の血流速度の検討」 谷田貝昂、上山浩也、永原章仁 神戸
- 2021.1 GI bioregulation カンファレンス 「胃拡大内視鏡における胃表層微小血管の血流速度の検討」 谷田貝昂 大阪



獨協同窓会 Doctor's Club

明治初期、ドイツなど西欧の文明、文化との積極的交流を図るために設立された獨逸学協会を母体として、明治16(1883)年10月、西周(にしあまね)初代校長のもと獨逸学協会学校(獨協中学・高等学校の前身)が開校いたしました。以来、獨協学園は創立140年を迎えようとしています。その間数多くの医学の徒を輩出しております。現在獨協同窓会名簿では1,000名以上の現役医師がおり、同窓会医師の親睦を図り、母校の発展に寄与することを主な目的としたのが「獨協同窓会 Doctor's Club」です。創設2000年以降毎年2月に母校正面の椿山荘で学術講演会と懇親会を行っています。左の画像は、獨協中学の先輩で医師であり歌人の水原秋桜子先生が書かれた句碑「花の下にやまひを救ふ手を組まむ」です。私達獨協の医師達の基本概念となっています。現在会長はクラスメイトである表参道の伊藤病院院長伊藤公一先生で私は副会長を務めています。<http://www.ddclub.net/>



東京ドクターズ ラグビーフットボールクラブ

私が所属する東京ドクターズラグビーフットボールクラブは、ラグビーに参加することで全国の医師・歯科医師や他のクラブチームとの試合を通して親睦をはかることを目的として設立された関東ラグビーフットボール協会所属のクラブチームです。記録によると昭和34年(1959年)4月3日第15回日本医学会総会で会員の懇親としてラグビー大会が行われたときに関東ドクターズとして創設され、その後現在の「東京ドクターズ」となり60年以上日本医学会総会に併せて行われるスポーツ交歓部門として発達し、現在は全国ドクターズラグビー大会や東京周辺のクラブチームとの定期戦、毎年秋の首都リーグに参加することなどが主たる活動となっています。私はプレイヤー兼監事として所属し、また前回2011年から日本医学会総会ソーシャルイベントラグビー部門の統括を任されています。次回2024年日本医学会総会ソーシャルイベントも現在計画進行中です。メンバーは東京周辺に在住勤務する医師・歯科医師で現在約70名です。卒業したばかりのメンバーから、70歳代のシニアまで年齢も出身大学も違うラグビー達と芝生の上で一緒にボールを追うのは私のかけがえないライフワークとなっています。<http://www.tdrfc.net/>



下町高齢者勉強会

ある日、ラグビーつながりで親しくさせていただいている一成会木村病院の木村厚先生に「うちの医療連携会で在宅診療について話してくれないか」とお願いされて「開業医が行う在宅診療のジレンマ」という演題で講演させていただきました。その時に来ていた、杏精会岡田病院の岡田豪院長、チームウエルの里秀一郎ケアマネ、リアンの山本陽子ケアマネ、渡辺麻美サービス提供責任者、木村病院の石井倫子訪問看護師らと懇親会で意気投合し「顔の見える連携から気持ちもわかるヒエラルキーなき連携」を目的とした勉強会をつくらうということになり、私が代表を務め、現在まで9年間にわかり2ヶ月に1度の勉強会、6ヶ月に1度の市民セミナーと納涼会や忘年会をおこなってきました。毎回約50名の参加者があり質疑応答も盛んにおこなわれています。勇美記念財団から助成金をいただくまで成熟した勉強会となりました。「地域包括ケアシステム」や「他職種連携」という言葉が出てきて久しいですが、ここに集まる医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護関係者、福祉関係者が、わけへだてなく、それぞれの役割を見出し、この地域で役に立つよう勉強し、とことん話し合い、連携を強化し機能していくことで地域に貢献できるよう日夜精進しています。

診療案内

内科 (消化器・循環器・呼吸器)

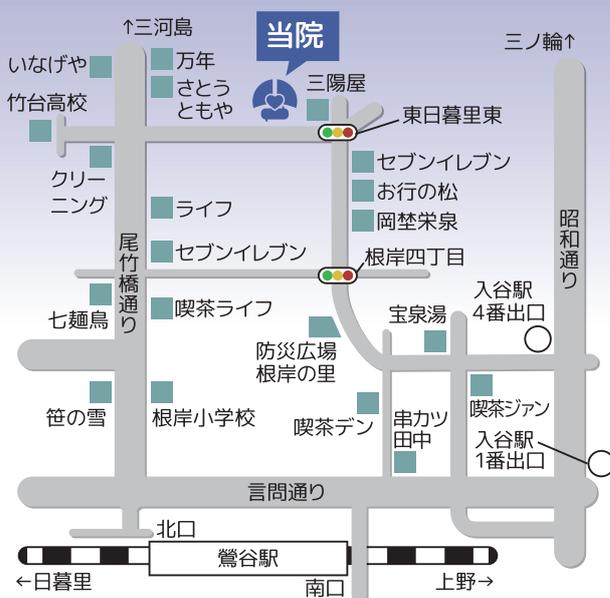
各種保険取り扱い

- 健康診断 在宅診療 (要相談) 応需
- 消化器の検査
消化管電子スコープ (胃カメラ・大腸カメラ) 腹部超音波等
- 循環器の検査
心電図 心臓超音波 24時間心電図等
- 呼吸器の検査
レントゲン撮影装置 呼吸機能検査 睡眠時無呼吸検査等

診療時間と休診日

	月	火	水	木	金	土
午前9時～午前12時30分	○	○	○	×	○	○
午後3時30分～午後6時30分	○	○	○	×	○	×

休診日は、木曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日



やたがいクリニックLINE案内QRコード



やたがいクリニックFacebook案内QRコード

